令和４年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人　松阪市社会福祉協議会

◆◆◆◆◆◆◆◆ 目次 ◆◆◆◆◆◆◆◆

P　1　　第１章　全体総括

P　1　　第２章　法人運営部門

1　部門総括

2　事業シート

（１）法人の運営

（２）人材育成

（３）福祉関係施設の運営管理

①指定管理施設の運営管理

②社協施設の適正な運営及び利用の促進

P　12　　第３章　福祉のまちづくり部門

1　部門総括

2　事業シート

（１）地域福祉活動計画事業の推進

（２）赤い羽根共同募金運動事業･配分事業の推進

（３）社会福祉大会事業

（４）総合相談事業

（５）資金の貸付事業

（６）受託運営事業

（７）包括的相談支援体制事業

（８）ボランティアセンター事業

（９）日常生活自立支援事業

(10) 地域後見サポート事業

(11) 生活困窮者自立支援事業

P　35　　第４章　在宅福祉サービス部門

1　部門総括

2　事業シート

（１）在宅福祉サービス事業

（２）高齢者福祉サービス

（３）障がい者福祉サービス

（４）その他の福祉サービス

P　46　　第５章　附属資料

（１）法人運営部門

（２）福祉のまちづくり部門

（３）在宅福祉サービス部門

第１章　　全体総括

令和２年度初頭から始まったコロナ禍は、引き続き本会の組織や事業の運営に影響を与えました。このような中、令和４年度は、第３期松阪市地域福祉(活動)計画と第Ⅳ期経営計画の最終年度として、両計画を達成するため関係機関と連携しながら組織運営や事業運営に工夫して取り組むとともに、松阪市の重層的相談支援体制整備に伴い福祉まるごと相談室の開設やアウトリーチ事業など新しい事業に取り組みました。

また、飯南高齢者生活福祉センターの令和６年度からの貸付先に選定されたことにより今後の地域福祉活動の拠点を確保するとともに、松阪市成年後見センターの中核機関化協議や施設･事業マネジメント協議の推進、組織体制の見直しなどを行いながら第４期松阪市地域福祉計画･地域福祉活動計画や第Ⅴ期経営計画を策定しました。

第２章　　法人運営部門

１　部門総括

長引く新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるなか利用者、職員に感染者が発生し事業所の休止による事業収益の低下等、自主財源の確保に影響がありました。また、燃料費など費用高騰の影響もありましたが、三重県や松阪市の運営対策助成金等の活用や、経費削減を各事業において職員が創意工夫し遂行しました。

組織運営では、役員改選や例規類の整備、第Ⅴ期経営計画を策定し、第４期松阪市地域福祉計画･地域福祉活動計画とリンクした計画達成に向けて、各部門、各課の在り方を見直し組織再編を行いました。

財務においては、松阪市と事業内容を重視した補助金･委託金協議を重ねました。法人として一括した提案を行っていくこと、各部門と協力し自主財源を活用した運営に取り組み、新たな福祉まるごと相談室を受けて持続可能な組織経営が求められます。

施設運営においては、本会施設や指定管理施設で多世代に向けた自主運営事業と拠点施設を中心とした地域福祉を推進しました。飯南高齢者生活福祉センターについては令和６年度から 10 年間の貸付事業者として選定されました。

人員･人材確保においては、退職や休職などにより人員が不足し中途採用や年度内の人事異動を行いました。しかし、中途採用や令和５年度に向けた採用では必要人員を確保することができませんでした。

令和５年度も法人経営の要として財源の確保と適切な予算の執行に取り組み、引き続き地域福祉の拠点を確保するとともに、将来に向けた積極的な採用と職員の専門性の向上を図るとともに研修等の人材育成に取り組んでまいります。

また、災害や感染症流行時における事業継続など、法人として危機管理体制をより強化してまいります。

2　事業シート

（１）法人の運営　　（単位:円）

事 業 名	法人運営事業	事業シート No１－１
担当部署	総務課、松阪･嬉野･三雲･飯南･飯高支所	事業実績　364,921,223

【令和４年度の成果】

○第４期松阪市地域福祉計画･地域福祉活動計画と連動した第Ⅴ期経営計画の策定

○社協総合システムに勤怠･給与システムを統一し業務効率、事務負担の軽減を行った

○例規類の改正、新設及び廃止(定款変更１、規程新設６、規定改正 35、規定廃止３）

○法人全体の人員配置を見直し、三雲・飯南にコミュニティソーシャルワーカーを配置して地域福祉事業の充実を図った。また、令和５年度からは嬉野、飯高にも配置することが決定した

○休職者に対して復帰後の定期的な状態確認を行い再発防止に取り組んだ

○安全衛生への取り組みが評価され、三重県労働局長賞安全衛生努力賞を受賞した

【令和５年度への改善】

○第Ⅴ期経営計画の職員説明会を行い、各事業の取り組みを明確にした組織運営を行う

○松阪市と事業内容を重視した施設および補助金･委託金協議

○法人 BCP を策定し危機管理体制を整備する

○安定した経営の為に自主財源の確保とコスト削減を行い、施設･事業マネジメントの評価を明確にしていく

○就職説明会等への参加や、求人の為の学校訪問を行い、人員･人材確保に取り組む

○職員の不調(メンタル面)への早期対応を行う

○休職者の復帰に向けた面談や復帰プログラムの整備

◇活動実績

○役員会等の開催　　※開催内容の詳細は P46

評議員会　４回　　理事会　８回　　評議員選任･解任委員会　２回　　中間決算監査　決算監査

○安定した経営への取り組み

自主財源の確保　　社協会費　9,255,720 円　内部監査:各課･支所　６回

○職員確保への取り組み

ア　専門職養成機関へ訪問　　大学　２件　短期大学　１件　専門学校　４件

イ　令和４年度採用職員数　　正規　９名　契約 23 名　非常勤 20 名

○職員意見聴き取り　　全拠点で実施　延べ 83 名

○資格取得支援

介護福祉士　１名　精神保健福祉士　２名　社会福祉士　１名

介護支援専門員　２名

サービス管理責任者基礎研修　１名　サービス管理責任者等実践研修　１名

介護支援専門員更新　12 名　サービス管理責任者更新研修　１名

介護職員初任者研修　２名

○社会福祉士実習生の受入れ　　４名

○機密文書裁断　11/5　12/20

○インボイス制度の開始に備え取引業者への文書通達(３０１件)

○衛生委員会　12 回

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
会費	9,255,720	雑収入	20,367,717
寄附金	1,033,082	助成金	2,501,061
補助金(松阪市)	145,483,000	積立取崩	7,660,400
受託金(県社協)	2,932,300	退職金取崩	44,508,594
事業収入	242,750	繰入金(退職金掛金)	32,718,107
負担金(協会事務)	500,000	繰入金(自主財源)	89,121,752
利息配当金	8,596,740		

（２）人材育成　（単位:円）

事 業 名	職員研修事業	事業シート No１－２
担当部署	総務課	事業実績　1,008,762

【令和４年度の成果】

○新人職員に１年間の振り返りと伝えることを目的とした研修会を実施した

○豊中市社会福祉協議会が行う実践研修に参加し、コミュニティソーシャルワーカーとしての先駆的な取組を学ぶスキルアップ研修に参加した

○県社協主催の BCP 研修の参加(障がい分野、高齢分野、社協分野: 3 日間 web 開催)

○SDG s の理解と社協事業に取り込めるようスキルアップ研修(web 開催)を行った

○人事考課制度について自主運営が行えるようになった

【令和５年度への改善】

○ハラスメント研修の実施

○県内外研修へ積極的に参加

○資格取得を行いやすい環境、支援制度の見直しを行い人財育成に取り組む

◇活動実績

○新任職員への研修

ア　新任職員研修(4/5　8 名、3/8　7 名)

イ　福祉施設新人職員研修(5/11)　5 名

ウ　新任社協職員研修会(5/30)　8 名

○派遣研修

ア　キャリアパス対応生涯研修(県社協開催)　各受講過程　計 18 名

イ　人事考課制度導入研修　2/13、2/14　調整委員会

ウ　インボイス研修　7 名

エ　東海北陸ブロック地区町村社協職員研修　web 開催　6 名

オ　防火管理者講習　4 名

カ　安全運転管理者講習　安全運転管理者　6 名　副安全運転管理者　3 名

キ　豊中市型コミュニティソーシャルワーカー実践研修　5 名

ク　社会福祉施設職員等対象者研修「身体拘束せずに事故を防ぐ方法」
web 開催　事業所職員

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額
会費	1,008,762

（3）福祉関係施設の運営管理

①指定管理施設の適正な運営及び利用の促進　(単位:円)

事 業 名	ハートフルみくも保健福祉センター事業(三雲)	事業シート No 1 － 3
担当部署	三雲支所地域福祉係	事業実績　19,267,456

【令和 4 年度の成果】

○地域共生社会の啓発、世代や属性を問わない活動の場、交流の場の提案
ア　親子が参加できる自主事業の実施によるキッズルームの啓発、利用促進
イ　健康増進目的に、健康増進器具、軽運動コーナーの設置
ウ　貸館のない部屋を学習室として開放
エ　カラオケ機器の利用再開
オ　自主グループと協働による夏祭りの開催
カ　地域の風景写真展を実施

○施設設備の改善充実(老朽箇所の改修、バリアフリー化、感染防止対策)
ア　入浴設備の改修
イ　空調設備の改修
ウ　和式トイレから洋式への換装
エ　便座消毒ディスペンサーの設置
オ　キッズルーム床材変更改修(繊維素材から防炎クッション材へ)

○危機管理、防災対策
ア　南海トラフ地震を想定した津波からの避難訓練を実施し、避難時の課題を確認
イ　総合防災訓練を実施し、避難時の課題の確認、洪水時避難（事業所)、津波避難、総合防災訓練、計画の見直し

【令和 5 年度への改善】

○地域共生社会の啓発、世代や属性を問わない活動の場、交流の場の提案
ア　地域福祉活動計画事業に基づいた、自主事業の実施

○施設設備の改善充実
ア　老朽化に伴う不調箇所の検証、改修箇所を松阪市と協議

○危機管理、防災対策
ア　見直しを行った防災計画に基づいた、訓練の実施
イ　防災備蓄品の保管管理、内容の見直し

○施設･事業マネジメントについて、関係部署と連携しながら取り組む

◇活動実績

○自主事業

ア　写真展実施（毎月）

地域住民の協力を得て、風景や地域のイベントなど毎回テーマを変えて開催

イ　8 月：住民の福祉増進のための事業「ハートフル夏まつり」(8/6)

参加者：約 600 人

ボランティア（引きこもり支援対象者 1 名）（社会福祉士実習生 2 名）

ウ　9 月：「人形劇団どむならん」公演（9/23）

参加者：61 名

エ　11 月：「子育てパパママ防災講座」(11/28)

参加者：約 30 人

オ　3 月：カラオケ登録団体交流事業、カラオケ交流会「われら歌い人」(3/10)

参加者 7 名

カ　3 月：市内の生活介護事業所と協働しマルシェを開催「ハルノマルシェ」(3/19)

参加者：約 500 人

○貸館件数　600 件

○利用者件数　9,477 名

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
受託金(松阪市)	19,199,076	雑収入	47,482
参加費	3,500	繰入金（自主財源）	17,398

(単位:円)

事 業 名	ハートフルみくもスポーツ文化センター事業(三雲)	事業シート No 1 － 4
担当部署	三雲支所地域福祉係	事業実績　27,986,987

【令和 4 年度の成果】

○スポーツ文化活動の拠点施設としての事業運営・地域交流活動による地域活力の醸成

ア　感染症対策を講じ、交流事業を再開実施、コロナ禍前と同程度の参加者があった

○施設設備の改善充実

ア　空調設備の改修

○施設･事業マネジメントについて、関係部署と連携しながら取り組んでいく

○　危機管理・防災対策

ア　南海トラフ地震を想定した津波からの避難訓練を実施し、避難時の課題を確認

イ　総合防災訓練を実施し、避難時の課題の確認、洪水時避難（事業所)、津波避難、総合防災訓練、計画の見直しを行った

【令和 5 年度への改善】

○スポーツ文化活動の拠点施設としての事業運営・地域交流活動による地域活力の醸成

ア　自主事業の充実

イ　運営管理の見直し

○施設設備の改善充実

ア　老朽化に伴う不調箇所の検証、改修箇所を松阪市と協議

○危機管理、防災対策

ア　見直しを行った防災計画に基づいた、訓練の実施

イ　一時避難場所としての備品、緊急時物品の整備

○施設･事業マネジメントについて、関係部署と連携しながら取り組む

◇活動実績

○自主事業

ア　筋力トレーニング教室：参加者 22 名(8/28)

イ　卓球交流会　参加者 30 名(10/16)

ウ　腹話術観覧　参加者 2 名(12/18)

エ　バランスボール教室　参加者 19 名(2/26)

○防災訓練

ア　津波時避難訓練(7/28)　参加者 45 名（サンウイングス利用者 25 名、職員 20 名）

イ　消防訓練(1/24)　参加者：57 名（デイサービス利用者 16 名、サン・ウイングス利用者 21 名、職員 20 名）

ウ　消防訓練(3/15)　参加者 60 名（デイサービス利用者 19 名、サン・ウイングス利用者 22 名、職員 19 名）

エ　洪水時避難訓練(3/27)　参加者 55 名（デイサービス利用者 25 名、サン・ウイングス利用者 25 名、職員 20 名）

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
受託金(松阪市)	24,090,000	雑収入	21,330
利用料	3,757,930	自動販売機手数料収入	109,398
受取利息配当金収入	18		

(単位:円)

事 業 名	飯南ふれあいセンター事業(飯南)	事業シート No 1 － 5
担当部署	飯南支所地域福祉係	事業実績　10,876,970

【令和 4 年度の成果】

○貸館による地域の交流拠点

ア　飯南町在住の児童(柿野･粥見小学校)が集まり、地域のボランティアとして元教職員や飯南高校生、皇學館大学生の協力により、勉強会や「ふくし」を学ぶ場を提供。また施設の活用についてアンケートを実施し、児童や保護者からは好評を得て令和 5 年度に繋げる取組みとなった

イ　子どもから親世代その祖父母など、多世代に渡る世代間交流を図る場を提供した。いきいきまつりはこども園に周知をしたことにより、コロナ禍であったが沢山の地域住民が来場し、交流の場を提供することができた

ウ　飯南地域における地域ボランティアの育成を目的として「絵手紙ボランティア養成講座」を開講し、ボランティア団体設立に向けた取組みを行うことができた（令和 5 年 4 月設立会議実施）

○施設･事業マネジメントの取組み
　ア　館内全ての照明を LED 照明へ移行工事が終了

【令和 5 年度への改善】
○指定管理の最終年度でもあり、令和 6 年度に向けて施設･事業マネジメントについて関係部署と連携し取り組む
○地域の交流拠点として自主事業を開催する

◇活動実績
○子育て支援事業子ども学習支援「夏休みの宿題をやっつけろ」(8/9)
　参加者:小学生 16 名、ボランティア 4 名
○住民の福祉増進のための事業「いきいきまつり」(9/10)
　来場者:146 名、飯南地区福祉会 7 名、飯南地区民児協 13 名
○住民の健康増進のための事業「ヨガ教室」(10/18)　参加者:10 名
○子育て支援事業「冬休み勉強会」(12/26･27)　参加者:小学生 24 名、
　ボランティア:飯南高校ボランティア部 7 名 皇學館大学生 1 名、地域住民 2 名
○子育て支援事業「えほんはこころの栄養～読み聞かせと講演会～」(1/21)　参加者:36 名
○絵手紙ボランティア養成講座　(1/23)6 名、(2/13)10 名、(2/20)8 名、(2/27)9 名、
　(3/13)6 名、(3/27)8 名
○子育て支援事業「いいなんに盲導犬がやってくる」(3/11)　参加者:37 名
　ボランティア:飯南高校ボランティア部 5 名、地域住民 4 名

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
受託金(松阪市)	10,855,370	雑収入	11,700
利用料	9,900		

(単位:円)

事 業 名	飯南高齢者生活福祉センター事業（飯南）	事業シート No 1 － 6
担当部署	飯南支所地域福祉係	事業実績　6,409,898

【令和 4 年度の成果】
○地域の交流拠点としての活用や自主事業を実施し、活動の場を通じた高齢者の生きがいづくりや健康の増進、イベント等の開催により多世代が交流できる機会ができた
○高齢者の居場所づくりとして「いー南カフェ」を月 2 回定期開催できた
○高齢者の生きがいづくりや健康の増進として「健康太極拳」を月 2 回定期開催
○令和 6 年度からの施設の貸付公募に応募し、貸付先(令和 6 ～15 年度)に選定された

【令和 5 年度への改善】
○令和 6 年度に向けた地域の交流拠点としての自主事業の計画と実施
○地域の声を反映した施設運営
○関係部署と連携した施設･事業マネジメント
○照明の LED 化

◇活動実績

○健康太極拳　　月２回開催

○いー南カフェ　８月以降月２回開催

○その他

介護用品展示会(4/20～４/30)、ヤクルト健康教室(４/22)おりがみ教室(5/26)

ヨガ教室(6/17)、私が守る家族の健康(8/17)、わがまちの防災を知ろう(9/27)

生け花教室(年２回)、パン粘土教室、芋煮会、蜜蝋ラップ作り(3/15)

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
受託金(松阪市)	5,028,000	雑収入	27,880
利用料	1,650	繰入金（自主財源)	1,352,368

(単位:円)

事 業 名	飯高高齢者生活福祉センター事業	事業シート No１－７
担当部署	飯高支所地域福祉係	事業実績　　14,239,297

【令和４年度の成果】

○貸館による地域の交流拠点

ア　消費者被害セミナーや認知症サポーター養成講座を実施し、予防知識と認知症に対する理解を深めた

イ　小学生を対象とした冬休み学習支援を２日間開催し、保護者より「今後も続けて実施して欲しい」と要望をいただいた。参加者 20 名

○居住事業

ア　入居者３名のうち２名が養護施設への申し込みを完了した

○施設･事業マネジメントの取組み

ア　施設修繕

（ア） 屋上全面防水工事完了

（イ） 和式から洋式トイレへの工事２か所、自動手洗い工事５か所完了

（ウ） 給湯配管と浴槽の漏水が判明し、地域振興局と協議し急遽給湯配管工事を実施した （3 月 22 日～25 日まで４日間入浴中止）

浴槽については工法等含めて協議継続中

イ　関係部署と連携しセンターの在り方について協議した

○台風 14 号接近に伴い避難所開設し地域住民の安全確保に努め２名受け入れを行った

【令和５年度への改善】

○令和６年度に向けて関係部署と連携しながら施設･事業マネジメントをおこなう

○地域交流拠点となる幅広い世代が活用できる自主事業の開催

◇活動実績

○消費者被害セミナー実施(6/24)

○ゆるり音コンサート(8/20)

○避難所開設(9/19)

○認知症サポーター養成講座(10/24)

○冬休み学習支援(12/26、27)

②社協施設の適正な運営及び利用の促進

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
受託金(松阪市)	13,752,037	利用料	487,260

(単位:円)

事 業 名	松阪支所(松阪)	事業シート No 1 － 8
担当部署	松阪支所地域福祉係	

【令和 4 年度の成果】

○地域団体の活動展示などを通じ、来訪者間の交流が生み出され、地域のネットワークづくりに貢献したほか、より多様な自主グループの貸館利用や協働につながった

○施設利用者の安全面や利便性に配慮した設備の整備(テラス改修、自動ドア遠隔装置)やカフェサロンの「みえ安心おもてなし認証店」取得および寄贈オブジェや娯楽設備の設置を行い、施設利用者へアピールし利用促進を図った

○令和 4 年度安全衛生に係る優良事業場として、三重県労働局長表彰(安全衛生努力賞)を法人代表として受賞

○第四地区住民協議会の環境部会とともに地域の美化活動に参加(花壇整備)

○多職種連携会議での協議により支所職員の行動指針を策定し支所内に掲示

○多職種連携会議で企画立案した「松阪支所まつり」を開催して地域への情報発信と社協の PR を行った

【令和 5 年度への改善】

○地域交流多目的室を活用したイベントや新たな企画展示を外部からの要望にできる限り応えていく(休日の利用希望など)

○カフェサロン「えみりあ」は、若年層グループ・個人の来店が増加しており、支所内各事業所の機能周知や会議室等の利用に繋げていく

○福祉まるごと相談室の開設に伴い、地域住民主体による協働の場づくり、ネットワークづくりの一環として、松阪市との協働によるイベントを企画・実施していく

○地域交流多目的室での「ふらっとカフェ」の継続開催は、新たな利用者の確保に向けて周知方法を再考し、ひきこもり相談窓口との連携や就労継続支援 B 型事業の体験利用、地域住民による関わりなどに繋げていく

○「松阪支所まつり」の継続開催において、来場者の要望や意見などを重視した開催ができるよう取り組んでいく

○危機管理体制の整備、施設管理におけるリスクマネジメントの一環として、防火避難訓練(年 2 回)に加え、洪水時の避難確保計画(浸水想定区域における要配慮者施設の管理者として)に基づき、訓練を実施していく方針とする

◇活動実績

○ふらっとカフェ(みんなの居場所づくり事業)の開催　月 2 回

○多職種連携会議　月 1 回、TEAM 松阪会議　月 1 回

○環境美化活動(花壇整備や屋外清掃等)　月 1 回

○多目的交流室での食料提供事業(随時)
○松阪支所まつりの開催　(3/11)来場者数約 300 人

(単位:円)

事 業 名	社会福祉センター管理補助事業(嬉野)	事業シート No 1 － 9
担当部署	嬉野支所地域福祉係	事業実績　8,282,819

【令和 4 年度の成果】
○施設マネジメントの実施
ア　嬉野社会福祉センター利用に関するアンケートの実施(回答数 159)
対象:施設利用者、地域住民、教職員
○一般開放事業拡大のため、誰でも気軽に参加利用ができる事業を開始
ア　みんなでイキイキ体操!(宅老所　神ノ木台健康イキイキ仲良しクラブ協力)
イ　うれたまごカフェ(カフェの名称の公募と周知のため不定期でイベントを開催)
(ア)「手洗いチェッカー」体験(平野薬局　中川店協力)
(イ)講演会「上手な薬局とのつきあい方」(平野薬局　中川店協力)
(ウ)「からだの健康度チェック」(カーブスジャパン協力)
○幅広い世代へ利用を広げるための仕組みづくり
赤い羽根共同募金を財源とし、子どもたちを対象にした地区内の事業所やボランティアとの協同事業を実施
作品づくりを通じて、多様性･ボランティア活動への理解につながった
ア　“ふわり”と夏の思い出づくり事業(就労継続支援Ｂ型事業所”ふわり”協力)
イ　絵手紙をかいてみよう!(嬉野絵手紙ボランティア「楽嬉(らっきー)」)
○地域福祉教育における施設の活用
豊地小学校 4 年生が地域福祉教育の一環で社会福祉センターへ来所
ボランティア活動と障がい者福祉についての学習をした

【令和 5 年度への改善】
○アンケート結果を活かした、施設修繕計画の立案
○避難所開設運営マニュアル、災害ボランティアセンター運営マニュアルの作成と松阪市総合防災訓練への協力

◇活動実績
○社会福祉センター自主事業(就労継続支援Ｂ型事業所自主製品展示販売、みんなでイキイキ体操！)　毎月第一水曜日　　参加者:30 人程度/回
○赤い羽根共同募金配分事業(防災フェスタ、“ふわり”と夏の思い出づくり、★のびのび BABY･KIDS ひろば★、うれたまごカフェ)
※★のびのび BABY･KIDS ひろば★は嬉野地区福祉会と協同で実施
○地域福祉教育における施設の活用
○避難所開設(9/19、9/23)

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
補助金(松阪市)	6,966,000	雑収入	1,023
利用料	560,200	繰入金(自主財源)	755,596

第３章　　福祉のまちづくり部門

１　部門総括

令和４年度は重層的相談支援体制整備として福祉まるごと相談室の開設にあたり、嬉野･飯高の福祉専門職の配置やアウトリーチ及び参加支援事業の受託など、本会にとって新たな業務を担った重要な１年でした。多機関協働事業やひきこもり支援事業は２年目を迎え、多職種の連携やひきこもりに関する相談･居場所づくりの事業展開などスピード感をもって取り組みました。

また、松阪市の福祉最上位計画となる第４期松阪市地域福祉計画･地域福祉活動計画の策定に力を注ぎました。住民自治協議会のヒアリングや専門相談機関アンケートで現状確認をして第３期計画を基本とすることとし、松阪市地域福祉活動計画策定委員会、住民自治協議会、地域の専門機関に協力をいただきながら策定することができました。本会職員、松阪市職員及び市民に広く周知を図り、令和５年度から令和９年度までの５カ年計画として推進に取り組んでいきます。

本会が新型コロナウイルス感染症対策により中止や web 開催としていた、ふれあい体育祭･赤い羽根共同募金のつどい･「市民活動助成事業」公開審査会･街頭募金運動･社会福祉大会など、創意工夫し積極的に開催することで地域福祉の推進に取り組みました。

新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰などの生活を圧迫する社会情勢により、複雑な相談も多いですが、地域は少しずつ以前の活動を取り戻そうと動き出しています。

２　事業シート

（１）地域福祉活動計画事業の推進　　（単位:円）

事 業 名	地域福祉活動計画事業	事業シート No２－１
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係	事業実績　　12,549,525

【令和４年度の成果】

○第３期地域福祉(活動)計画の推進

ア　重点項目「人づくり」「場づくり」「ネットワークづくり」において、地域ごとの取組みを担当者間で意見交換を行い、各地域へ拡げることができた

イ　「地域ヒアリング」や地域支援計画に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響の中でも取り組める福祉活動を提案し実行する地域ができた

ウ　地域課題モデルとして取り組んだことを、住民主体および多くの住民と協働する事業へと展開することができた

○第４期地域福祉計画･地域福祉活動計画の策定

ア　相談支援機関へのアンケートや保護司へのヒアリングを実施した結果を松阪市と共に課題整理し、５年後の目指す姿を明確にし、自助･互助･共助･公助の視点での取組みなど、市民にとって分かり易い計画となるよう実施した

イ　小地域福祉活動連絡協議会エリア代表者会議（９エリア)や重層的支援体制ネットワーク会議での説明、社協職員への意見収集や進捗状況の共有を行いながら計画策定を進め、より身近な計画になるように取り組むことができた

【令和５年度への改善】

○第４期松阪市地域福祉計画･地域福祉活動計画の推進

ア　地域支援･個別支援の視点を入れた計画の推進を行う

イ　住民主体となる事業の展開を行う

ウ　生活困窮者支援を入り口とした協力体制の確立を行う

○地域福祉計画・地域福祉活動計画の周知

ア　住民自治協議会、地区福祉会、専門支援機関、関係団体に理解いただくために説明できる職員(本会、松阪市)の育成と様々な周知方法の検討

イ　地域福祉活動計画と各地域計画が連動した支援を行う

◇活動実績

○第３期松阪市地域福祉(活動)計画推進

ア　飯南･飯高地区見守りネットワーク化(茶ちゃ丸見守り隊)【人】

イ　地域福祉教育モデル事業(嬉野中学×嬉野マルシェ×SDGｓ)
【人･場･ネットワーク】

ウ　生活困窮支援を通じた協力体制づくり(お米･生理用品･フードドライブ)
【ネットワーク】

エ　地域支援計画の推進…「地域ヒアリング」を基に「地域計画」との連動および「人」「場」「ネットワーク」による推進

○第４期松阪市地域福祉計画･地域福祉活動計画策定

ア　策定委員会の開催　３回(第３回 8/1、第４回 10/6、第５回 1/24)

イ　総合相談機能を有する相談支援機関および福祉関係各課へのアンケート

ウ　小地域福祉活動連絡協議会エリア代表者会議(９エリア)にて第４期地域福祉活動計画の策定進捗状況の共有

エ　本会職員を対象とした計画の策定進捗状況の共有と意見収集

○小地域福祉活動推進　小地域福祉活動助成金　34 地区　総額 10,140,527 円

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
補助金(松阪市)	10,296,000	繰入金(自主財源)	2,253,525

(２)赤い羽根共同募金運動事業･助成事業の推進　(単位:円)

事 業 名	住民･障がい者･高齢者･児童福祉活動事業	事業シート No２－２～５
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係 松阪･嬉野･三雲･飯南･飯高支所	事業実績　32,329,000

【令和４年度の成果】

○運動事業

ア　赤い羽根共同募金「募金運動グッズデザイン」コンテストを実施し、共同募金への関心を高め募金運動活性化を図った(6 中学校から 187 点の作品応募)

イ　LINE や Facebook などを活用した多世代への適時情報提供

ウ　４年ぶりとなる松阪共同募金のつどいを開催。コロナ禍で創意工夫を凝らした募金運動の報告や共同募金を活用した一部取組みの紹介

エ　サマーボランティアスクールで赤い羽根共同募金講座を実施。絵手紙ボランティア協力のもと、店舗等設置用の募金箱に添える絵手紙を作成

オ　UMOU プロジェクトの推進。羽毛製品リサイクル啓発について、松阪市と協議し広報誌や企業広告への掲載、地域のイベントなどでの啓発、企業との協働回収に取り組んだ。松阪市は三重県下一番の回収実績であった

カ　三重の赤い羽根募金百貨店プロジェクトの推進。「SDGs の取り組み」「子ども居場所づくり事業への応援」として啓発を行い新たに 3 企業が参加

キ　赤い羽根自動販売機設置の推進。三重県共同募金会への働きかけにより、新たな飲料メーカーの参画体制が整い、松阪として初めて企業への設置があった

○社協事業

＜住民福祉活動＞

ア　情報発信･共募 PR

(ア)社協だより、ふっきー日記、LINE 及び Facebook により、多様な世代や属性の方へ地域の福祉活動を発信

(イ)イベントへのブース出展による共同募金啓発

イ　地域福祉活動推進助成

(ア)松阪市内 43 地区の住民自治協議会または地区福祉会に助成

ウ　市民活動助成

(ア) 3 年ぶりに公開審査会を実施。団体同士の交流や意見交換の場となった

(イ)地域担当者や地域包括支援センターと協力した団体支援

エ　地域福祉教育の推進･地域の人材育成

(ア)体験学習や地域探究活動等地域の福祉活動団体や職員による出前講座

(イ)SDGs×地域×学校　地域福祉教育モデル(嬉野中学校)を実施

オ　生活応援ふくし

(ア)松阪市民や企業から寄せられた食糧や生活用品を松阪市生活相談支援センターとの連携により配布。生活再建のつなぎ支援となった

カ　みんなの居場所づくり

(ア)ふらっとカフェ(松阪支所)、うれたまごカフェ(嬉野支所)等を実施。世代や属性によらない交流の場、居場所(参加支援)となり、宅老所の地域貢献活動へもつながった

キ　福祉活動助成

(ア)既存の当事者団体以外に、公募枠にて 2 団体の応募があった

ク　地域福祉教育推進助成(新設事業)

(ア)学校が地域の福祉課題解決の視点でキャリア教育に取り組むきっかけとなった

＜障がい者福祉活動＞

ア　障がい者施設を拠点とした地域交流イベントを実施。障がい者福祉や多様性など地域共生社会について参加者と共有した

＜高齢者福祉活動＞

ア　つながり応援

(ア)地域組織と事業所が協働するしくみを構築。過疎化、高齢化が深刻な地域で集いの場を実施した

イ　宅老所活動支援

(ア)宅老所の訪問調査により「宅老所活動紹介冊子』を作成し配布。身近な地域での集いの場の再開、担い手づくりの参考としてもらった

＜児童福祉活動＞

ア　子どもの居場所づくり

(ア)三重の赤い羽根募金百貨店プロジェクトによる助成。学習支援や子ども食堂、遊びの拠点づくりなど、各団体工夫しながらの活動支援

イ　子育て支援行事助成･子どもの行事助成

(ア)読み聞かせや音楽活動、公民館との協働事業、放課後児童クラブを拠点とした地域子育て交流活動､自治会や子ども会による地域交流花火大会やラジオ体操などの活動支援

○歳末炊き出し事業

「あったかごはんプロジェクト」の名称で食糧提供を福祉会館及び､旧松阪管内で希望のあった４つの地域で住民自治協議会と協働で出張形式で開催

【令和５年度への改善】

○赤い羽根共同募金啓発、運動活性化のため「募金運動グッズデザイン」コンテスト入選作品を活用した運動資材及び広報資材の製作

○赤い羽根自動販売機設置推進のための企業訪問

○松阪共同募金のつどいの開催規模･内容･集客方法の検討

○社協だより、ふっきー日記、LINE 及び Facebook での効果的な情報発信

○生活相談支援センターと協働した、コロナ特例支援策終了後の物資提供等の支援

○住民自治協議会等と協働した、身近な地域での食料･生活用品支援

○児童発達支援地域スクール、各地の防災イベントなどでのサポートブックの啓発

○活動が停滞している団体への web 活用や新たな生活様式での活動方法などの提案

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	住民	障がい	高齢者	児童
一般	10,621,000	1,677,000	2,695,000	6,649,000
歳末	2,329,000	41,400	0	1,908,000
参加費収入	0	9,600	0	0
繰入金	2,137,000	0	0	0
前年度繰越	2,155,000	525,000	213,000	1,369,000

(３)社会福祉大会事業　(単位:円)

事 業 名	社会福祉大会事業	事業シート No２－６
担当部署	福祉のまちづくり課、総務課	事業実績　1,800,000

【令和４年度の成果】

○規模を縮小し、社会福祉功労者の顕彰、基調講演を実施。第３期地域福祉(活動)計画の基本理念「地域の絆による支え合いのまち松阪」の実現のため、福祉の高揚と推進を

図った
○基調講演では、地域福祉活動計画の「人づくり」に焦点を置き、地域の中で人がつながり支え合う「力」を発揮してもらうための行動について学んだ
○障がい児(者)施設による自主製品オリジナルショップの出店や、松阪市内のゆるキャラ５体と共同募金の２体が会場に集合し、規模は縮小したが創意工夫し賑やかな大会となった

【令和５年度への改善】
○誰もが参加できる方法の検討
○表彰だけでなく、ボランティア団体など活躍されている団体同士がつながる機会となるような企画の提案

◇活動実績

開催日時　　12 月 11 日(日)　10 時～12 時 30 分
テーマ　　『今だから　みんなで助け合う　地域のふくし』
場　所　　ハートフルみくもスポーツ文化センター
プログラム　　第一部　社会福祉功労者及び団体の表彰　36 団体、41 名
第二部　基調講演「地域に財(福祉)をもたらす人(心)づくり」
講師　次世代リーダー育成会社 Human Freeman 代表　松葉健司氏
赤い羽根共同募金運動
障がい児(者)施設による自主製品オリジナルショップ　　出店７団体

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
補助金(松阪市)	900,000	繰入金(自主財源)	900,000

(４)総合相談事業　　(単位:円)

事 業 名	総合相談活動事業	事業シート No２－７
担当部署	福祉のまちづくり課権利擁護係 松阪･嬉野･三雲･飯南･飯高支所	事業実績　　3,956,839

【令和４年度の成果】
○心配ごと相談
ア　過去５カ年の実績、令和４年度より開設した福祉まるごと相談室などの状況等を踏まえ、協議の結果、三雲･飯南･飯高の心配ごと相談窓口を終了することとし５年度の心配ごと相談について周知を行った
イ　令和５年度心配ごと相談を継続する松阪支所、嬉野支所の相談員を対象に研修、交流会を行った
○法律相談
ア　４月、５月と新型コロナウイルス感染状況をみて web を活用した相談を行った。６月以降は感染対策を講じ対面での相談を再開した

【令和５年度への改善】
○プライバシーや個人情報の保護のための待合室の確保

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
補助金(松阪市)	3,611,000	繰入金(自主財源)	345,839

(単位:円)

事 業 名	福祉まるごと相談室運営業務	事業シート No２－８
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係、嬉野･飯南支所	事業実績　12,824,683

【令和４年度の成果】

○７/７開設の鎌田、嬉野、飯高のうち、社会福祉協議会として嬉野と飯高に福祉専門職を窓口に配置。新設窓口として地域住民への周知を中心に行った

○開設後、相談が少ないときには心配ごと相談への出張相談や地域包括支援センター、介護支援専門員と連携をすることで、課題の拾い上げに努めた

○市民からの相談に対して、アウトリーチを実施。各専門機関と連絡、役割確認を行いながら対応した

○個別ケースの対応から地域の関係機関や企業との連携体制づくりにつなげて見守り、支援のネットワークづくりを行った

○コミュニティソーシャルワーカー、地域担当、民生委員などと連携を取りながら相談体制の強化を図った

○(嬉野)認知症高齢者の個別支援として、地域における重層的な見守り支援体制を第二包括、社協嬉野居宅と連携し構築。小売店、飲食店、公共交通機関、警察などに呼びかけを行い、地域勉強会を開催した。福祉的な視点を交えながら議論が展開された

【令和５年度への改善】

○地域担当とコミュニティソーシャルワーカーとの連携、協働の機会を増やし、地域の関係者を巻き込みながら役割の整理、地域課題の発見や地域づくりを行う

○福祉まるごと相談室三雲、飯南の新規開設に伴う、周知啓発活動や他の専門支援機関との連携体制構築

◇活動実績

＜嬉野＞

○相談実績　相談件数 468 件

【来所 133 件、電話 228 件、訪問 95 件、メール相談７件、その他５件】

緊急対応(虐待、生活困窮、医療等)3 件

○周知･啓発

嬉野地区各公民館、民児協定例会、住民自治協議会主催の栄養講座、地域共生社会推進フォーラム、文化祭にてポスター出展･チラシ･ティッシュ配布、広報誌特集記事掲載、第３回地域包括ケア推進会議にて取組発表

○会議(打合せ)

重層的支援体制整備事業先進地(豊田市)視察、重層的支援ネットワーク会議、第１回ひきこもり支援連携調整会議、ひきこもり支援フォーラム、令和４年度ひきこもり支援者スキルアップ研修会、豊地まち協宅老部会研修会での取組み状況報告、包括的支援体制整備に向けたテーマ別研修会「包括的相談支援事業」「地域づくり事業」「アウトリーチ等

を通じた継続的支援事業」「参加支援事業」「多機関協働事業」、地域勉強会の開催、相談支援包括化推進会議

＜飯高＞

○相談実績　相談件数 212 件

【来所 47 件、電話 124 件、訪問 32 件、出張相談 9 件】

緊急対応(虐待、生活困窮、医療等) 7 件、『Link シート』提出件数 1 件

○周知･啓発

住民自治協議会、地域交流型一般デイサービス(サテライト型デイサービス)、介護予防教室、交番･飯高分署、郵便局、JA みえなか、中学校、小学校、こども園、リフレッシュママの会、健康診断(チラシ配布、紹介)/宮前診療所、開発センター、飯高老人福祉センター、地域スーパー/つるや、スーパー香肌、河俣の里

○会議(打合せ)

先進地視察研修(桑名市)、松阪多気･南勢志摩圏域ひきこもり支援連携調整会議、地区別連携会議、重層的支援体制ネットワーク会議、虐待実務者会議、社会福祉士会連絡会、地域包括化ケア推進会議、移動手段に関する懇談会/飯高(zoom)、けあまねっと、令和 4 年度三重県介護従事者確保事業親族支援、飯高中学校福祉教育対応

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
受託金（松阪市）	10,983,401	繰入金（自主財源）	1,841,282

(単位:円)

事 業 名	アウトリーチ等を通じた継続的支援及び参加支援事業	事業シート No2―9
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係 松阪･嬉野･三雲･飯南･飯高支所	事業実績　26,842,843

【令和 4 年度の成果】

○アウトリーチ事業

ア　潜在的ニーズを抱える人の早期発見のための支援機関等への周知と連携強化

(ア)チラシを作成し周知

民生委員児童委員協議会、住民自治協議会、地区福祉会の総会で周知を図った
また、各支援機関へチラシ配布による周知活動に取り組んだ

(イ) 連携および役割分担等について検討

生活相談支援センター、地域担当者、多機関協働事業と事例検討会を開催しアウトリーチ機能に関する役割を検討した。また、市･健康福祉総務課主催「ひきこもり支援体制」「住居等における不良な生活環境の解消に向けた支援会議の会議」へ参加し互いの役割について協議を行った

イ　アウトリーチ支援プラン作成

(ア)定期的な見守り活動などアウトリーチ支援を行った。内 1 件プランを作成し支援を開始した(現在も継続中)

○参加支援事業
　ア　松阪市が開設するひきこもり相談窓口と連携し、相談者に対してアセスメントを実施。窓口が行う居場所へ参画し、利用者の参加支援へと繋げた
○先進地視察(伊勢市社会福祉協議会など)を行い、実態把握調査やマッピング調査の取り組み、アウトリーチ、参加支援のアセスメントやプラン作成等について学んだ

【令和５年度への改善】
○まるごと相談室との連携を強化し、相談につながっていない方々へ支援を届ける
○地域担当と協働して個の事例から地域の課題の掘り起こし、不足している資源の開発を行っていく

◇活動実績
相談件数　実数 279 件　　アウトリーチプラン作成　１件
参加支援プラン作成　１件

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
受託金（松阪市）	20,000,000	繰入金（自主財源）	6,842,843

(５)資金の貸付事業　　(単位:円)

事 業 名	生活福祉資金貸付事業	事業シート No2―１０
担当部署	福祉のまちづくり課権利擁護係 嬉野･三雲･飯南･飯高支所	事業実績　　4,183,320

【令和４年度の成果】
○令和２年３月末から続くコロナ特例貸付への対応(令和４年９月末終結)
　ア　生活相談支援センターや日常生活自立支援センターなどと生活実態把握を行い、当面の生活維持に必要な支援につなげた
○保護課との協働により、教育支援資金を活用し世帯の自立へつなぐ相談支援を行った
○通常貸付での自立･生活支援、社会参加のための相談･支援
　ア　生活相談支援センターと協働し通常貸付の長期･複数回返済滞納者に対して文書や電話、訪問による相談支援を行い償還完了につなげた
○令和４年２月から償還免除の相談対応を継続
○令和５年１月開始のコロナ特例貸付償還事務について、12 月から契約職員を増やし対応した。自立相談支援センターと連携し償還猶予が必要な方への支援を行った
○教育支援資金について、保護課などの関係機関、中学校、高等学校、(短)大学･専門学校と情報提供や協働により相談支援を行った

【令和５年度への改善】
○コロナ特例貸し付けの償還免除未申請者に申請を勧めていく
○外国籍の方は償還案内に気づかないことがあるため、免除対象の確認を行う
○猶予者について生活相談支援センターと連携して支援する

◇活動実績
コロナ特例貸付/緊急小口資金･総合支援資金申請数　186 件、63,450,000 円
緊急小口資金　12 件 106,000 円　不承認　３件　300,000 円

福祉費

ア　障害者自動車購入費２件　1,749,000 円

イ　教育支援資金 20 件　24,903,000 円

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額
受託金(県社協)	4,183,320

(単位:円)

事 業 名	つなぎ資金貸付事業	事業シート No2―１１
担当部署	福祉のまちづくり課権利擁護係	

【令和４年度の成果】

○生活が維持できるように速やかな対応を心掛けた

○令和３年度は生活保護世帯を含めたコロナ給付金などの支援策があり申請数が少なかったが、令和４年度は相談件数が増加している

○所在不明や死亡にて今後も返済が見込めない 12 名について徴収不能の処理を行った

【令和５年度への改善】

○主な貸付実績は、保護費の紛失や家電購入による連年での貸付であり、金銭管理に支援が必要な方が多い状況である。保護課と連携をとりながら、生活が改善できるように貸付を行っていく

○新型コロナウイルス感染症の支援策が終わった後の支援として生活保護世帯だけではなく困窮者に間口を広げた対応を検討していく必要がある

◇活動実績

貸付　７件　114,790 円

償還　８件　115,790 円

(単位:円)

事 業 名	育英基金貸付事業(飯南)	事業シート No2―１２
担当部署	飯南支所地域福祉係	

【令和４年度の成果】

○令和３年度の事業周知により令和４年度は１件の申請があり、貸付決定となった

○給付型事業への制度変更について、飯南中学校や飯南高等学校に学生の実情確認を行い、貸付事業から給付事業へと大きく転換することとなった（令和５年度より）

【令和５年度への改善】

○貸付金の滞納者への継続対応

○申請者の評価基準の見直し(書類･面接の基準の数値化)

○地域福祉活動への参加周知方法など詳細を決めていく

◇活動実績(単位:円)

令和３年度末　未償還額	7,382,000	令和４年度　貸付額	360,000
令和４年度　償還額	2,664,000	令和４年度　未償還額	5,078,000
令和４年度末　基金残高	63,000,000		

（単位:円）

事 業 名	保育士修学資金貸付事業	事業シート No２－１３
担当部署	福祉のまちづくり課権利擁護係	事業実績　20,375,819

【令和４年度の成果】

○指定保育士養成施設の学生に修学資金の貸付を行った

○松阪市と要綱の再調整を行い、償還免除対象施設の追加を行った

○保育士就学資金貸付審査委員会の開催を行った

○令和５年度の募集開始を９月に行った

ア　主要な養成施設、高等学校へ訪問。周知や学生の支援について協力を依頼

【令和５年度への改善】

○令和４年度は高校への周知が遅くなってしまったため、高校と相談しながら周知のタイミングを計っていく

○定員を下回った場合の対応を松阪市と協議していく

◇活動実績

貸付金返還３名　900,000円　　１名返還済　300,000円

令和４年６月　保育士就学資金貸付審査委員会開催(返還猶予の審査)

10名のうち５名が松阪市内保育園等へ就労、３名在学中により償還猶予

令和５年３月　保育士就学資金貸付審査委員会開催(貸付予約者の決定)

申請受付件数５件　貸付予約者５件

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
受託金(松阪市)	15,177,000	償還金	1,200,000
繰入金(自主財源)	3,998,819		

(６)受託運営事業　（単位:円）

事 業 名	高齢者ボランティアポイント事業	事業シート No２－１４
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係	事業実績　2,903,874

【令和４年度の成果】

○新型コロナウイルス感染症で引き続きボランティアの受け入れを見合わせる登録事業所があり、登録取消を希望する活動員に対し、ボランティア希望する事業所へのマッチングを行った

○前年と同様にポイント還元手続きと合わせて研修交流会を３会場に分けて実施した

○高齢者支援課と共に、各登録事業所のボランティア受入れ状況、令和５年度の活動先一覧表作成のための意向把握のアンケートを実施した

○事業の継続性、ポイント還元方法の簡素化などについて、松阪市と協議し、今後の課題であることを共有した

【令和５年度への改善】

○オリエンテーションへの参加者数が５名以下のこともあるため、周知の強化(公民館や市民センター、活動団体などへ)を行う

○活動中止されていた方の活動再開やマッチングの支援

○活動希望者、活動先の希望ボランティアの情報整理や発信方法の検討
○活動員の管理をする上で、保留期間の取り決めや活動再開時の対応(1 年以上保留の方は再度事前オリエンテーション受講の旨、近況報告書に記載あり)などについて、松阪市と確認･協議していく
○事業の対象活動先の拡大(例：公民館活動、住民自治協議会での活動、その他の活動)の検討

◇活動実績

オリエンテーション開催(4/25、6/27、8/22、10/25、R5/2/20、参加者計 19 名)
研修交流会開催(1/12、1/13、1/16、参加者計 25 名)

○ポイント還元について

交付額(円)	1,000	2,000	3,000	4,000	5,000	合計
交付活動員数(名)	8	8	10	12	34	72
転換ポイント数	160	320	600	960	3,400	5,440
合計額	8,000	16,000	30,000	48,000	170,000	272,000

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
受託金(松阪市)	2,294,121	繰入金(自主財源)	609,753

(単位:円)

事 業 名	児童発達支援地域スクール事業	事業シート No２－１５
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係	事業実績 6,410,340

【令和 4 年度の成果】
○実行委員会で地域共生社会づくりを取り入れる方向性を決定し、地域住民の協力(徳和地区住民自治協議会、神ノ木台健康イキイキ仲良しクラブ、松阪三珍花保存会)を得てレクリエーションを実施した。夏季開催時は、防災レクを実施した
○新型コロナウイルス感染症に配慮した開催方法を協議し、通年通りの 1 日開催で事業を行った

【令和 5 年度への改善】
○新型コロナウイルス感染症をきっかけに、参加児童の大幅な減少が見られるため、定員数確保を目指す。事業の周知や開催情報の発信、地域スクール独自の内容を実行委員会にて検討し実施していく
○地域共生社会づくりとして、市民センターのコミュニティセンター化に伴い、引き続き地域担当者と連携を取り、地域住民の事業参加･協力要請を継続する

◇活動実績

○地域スクール夏 10 日間、冬 2 日間、春 2 日間実施

参加児童数

(1)参加児童実人数　15 名(夏 7、冬 4、春 4)
(2)参加児童延人数　26 名(夏 18、冬 4、春 4)

ボランティア人数

(1)参加者実人数　54 名(夏 44、冬 5、春 5)

（2）参加者延人数　　60名(夏50、冬5、春5)

一般　3名(夏1、冬1、春1)　　市民病院看護師13名(夏9、冬2、春2)

学生　16名(夏13、冬2、春1)　　教員1名(夏0、冬0、春1)

民生委員10名(夏10、冬0、春0)　市職員17名(夏17、冬0、春0)

運営人数(延べ)

（1）エールの会人数　　32名(夏24、冬4、春6)

（2）社協職員数　　37名(夏29、冬4、春5)

（3）生活アシスタント数　25名(夏20、冬5、春0)

○保護者説明会　　6/3　参加者3名

○ボランティア説明会　7/15、16　参加者計27名(15日11名、16日16名)

○実行委員会　7回開催(4/13、6/22、9/21、10/21、11/24、R5/1/19、3/24)

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
受託金(松阪市)	4,852,700	繰入金(自主財源)	1,557,640

（7）包括的相談支援体制事業　　(単位:円)

事 業 名	多機関協働事業	事業シート No２－１６
担当部署	福祉のまちづくり課生活相談支援係	事業実績　7,529,748

【令和4年度の成果】

○本会内部並びに外部支援機関へ向けて、重層的支援体制整備事業について周知啓発を行った

○松阪市役所関係課、並びに主要な専門支援機関に向けて、重層的支援体制整備事業の推進と顔を見える関係づくりを目的に、多機関協働事業重層的支援ネットワーク会議を開催した

○複雑かつ複合的な困難ケースを預かり、課題を整理し、支援関係機関の役割分担や支援の目標･方向性を明確にし、解決への道筋をプラン化することを目的に、包括化推進会議を開催した

○ひきこもり支援推進事業や教育機関と情報共有を重ね、対象者が本事業へつながれる体制を整備し、実例を通じて協働のあり方を学んだ

○支援関係機関から、「Link」シートによる相談を受け付ける毎に、その方向性と取り扱いについて十分に協議を行い、スクリーニング機能の役割を果たした

【令和5年度への改善】

○内外部への更なる周知啓発活動

ア　令和4年度開催延期となった本会松阪支所への啓発

イ　その他主要な支援機関への周知啓発

○重層的支援ネットワーク会議の新たな展開

ア　アドバイザーによる事例検討の手法を用いた研修会の開催

○重層的支援会議と支援会議のすみ分けと、スクリーニングの強化

ア　迅速な支援開始を目指し、法に基づく支援会議を有効に活かしつつ、受け付けたケースを適切に方向づけられるよう、スクリーニング機能を強化する

○本会内部他事業との協働
　ア　ひきこもり支援推進事業、コミュニティソーシャルワーカー、地域担当との協働を増やす
○受託業務内容の協議
　ア　多機関協働事業を開始して2年が経過。今後の方向性を松阪市と協議する

◇活動実績
○周知活動
　ア　松阪市第五地域包括支援センター主催キャリアアップ研修会　講師
　イ　医療機関、医療従事者への事業説明
　ウ　本会職員への説明会の実施
　エ　重層的支援ネットワーク会議「テーマ別講義と小グループ編成による顔の見える関係づくり」
○相談件数(Linkシート受付)新規　12件
　情報共有　8件、包括化推進会議　4件
○包括化推進会議の開催　17回
　新規プラン作成　5件、再プラン作成　6件、終結　5件、その他　1件
○重層的支援ネットワーク会議の開催　12回

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
受託金(松阪市)	6,435,000	繰入金	1,094,748

(単位:円)

事 業 名	ひきこもりサポート事業	事業シート No２－１７
担当部署	福祉のまちづくり課生活相談支援係	事業実績　5,945,268

【令和4年度の成果】
○ひきこもり相談窓口の開設、周知啓発
　ア　相談しやすい方法を選択できるよう、9月からLINE相談を開設した
　イ　松阪市及び本会の広報媒体だけではなく、各地区独自の広報媒体で情報発信により、多数の相談が寄せられた
○相談支援
　ア　相談内容に応じて、適切な支援機関と連携を図り継続的な支援を行った
○居場所づくり
　ア　地域の方の協力を得て、当事者の居場所開催や農業体験を行った
　イ　当事者の居場所で行う軽作業を地域の企業から提供いただいた
○家族会や講演会フォーラムの開催
　ア　ひきこもり当事者やその家族の孤独、孤立感、生き辛さの理解を広めるために、講演会やフォーラムを開催、相談窓口へ繋ぐことができた
○支援関係機関との連携
　ア　愛知教育大学の川北稔准教授の協力を得て、ひきこもり支援連携会議を開催し、連携体制の整備を行った

【令和５年度への改善】
○公共施設だけではなく、チラシ設置場所を拡大する
○事例を通して支援方法を検討し、より良い支援体制を構築する
○ひきこもり相談窓口が実施する当事者の居場所や家族のつどい、講演会の運営補助として、よりそいサポーターの養成講座を行う
○地域担当者やコミュニティソーシャルワーカー、よりそいサポーターと協力して地域に合わせた居場所づくりを行う

◇活動実績
○相談支援
ア　相談者数　64 人(実人数)
イ　相談支援件数　341 件(延べ件数)
ウ　相談方法内訳　電話　123 件、来所　104 件、LINE　16 件、出張　　4 件、
訪問　21 件、その他　73 件
○当事者や家族に向けた居場所や集い
ア　当事者の居場所開催　24 回(蔵　14 回、出張　4 回、畑　6 回)
イ　家族のつどい開催　　3 回
○ひきこもり支援連携会議　3 回

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
受託金(松阪市)	5,835,000	繰入金（自主財源）	110,268

(８)ボランティアセンター事業　　(単位:円)

事 業 名	ボランティアセンター事業	事業シート No２－１８
担当部署	福祉のまちづくり課 ボランティアセンター係	事業実績　5,409,200

【令和４年度の成果】
○直接の活動がなかなかできないなかで、zoom を活用したボランティア支援に力を入れた
ア　奈良県葛城市社協と zoom にて「コロナ禍でのつながり」研修会を行った
イ　松ボ連松阪支部 zoom の使い方研修会開催(6 月･2 月)
○傾聴ボランティアフォローアップ講座を嬉野･三雲･飯南･飯高各地区持ち回りで６回実施。合同で講座を受けることで各地区メンバーの技術･意欲の向上となった
○ボランティア育成としてニーズのあった嬉野･三雲地区にて「傾聴ボランティア講座」を行い、10 名受講 8 名が修了した。修了した受講生と話し合い 12 月に新団体設立となった
○災害ボラセンサポートスタッフ養成研修(第 11 期生)をニーズに基づき嬉野地域に限定して実施。第 10 期未修了生 2 名含む 9 名が受講し 8 名が修了する(これまでの修了生 151 名)
○福祉教育、ボランティア活動に関わる機会の提供
ア　サマーボランティアスクールを開催
イ　ウインターボランティアスクールを開催

ウ　福祉教育として小･中･高校の授業に参加(小 12 校、中 1 校、高 1 校)
※小学校 12 校のうち中原小 5 回、豊地小 3 回、阿坂小 2 回実施

○活動休止団体へのサポート
活動日時の協議を行い再開に至る

【令和 5 年度への改善】

○ボランティア活動を強化するため、モチベーション向上研修会や先進地の話を聞くなどの場を設ける

○ボランティア活動啓発のため、イベント等を企画してボランティア増加につなげる

○松阪市と協議や情報共有を行い、災害時における体制づくりの推進を行っていく

◇活動実績

○登録ボランティア数

	松阪	嬉野	三雲	飯南	飯高	計
グループ	44G	11G	8G	4G	4G	71G
(単位:G)	573 名	126 名	87 名	95 名	37 名	918 名
個人	5 名	4 名	0 名	0 名	0 名	9 名
計	578 名	130 名	87 名	95 名	37 名	927 名

○松阪市ボランティア連絡協議会との協働事業
会議(総会･役員会･打合せなど):29 回　行事(視察･研修):6 回　合計:35 回

○ボランティア派遣実績
依頼件数:808 回　　派遣人数:5,676 人　　※派遣内容の詳細　P53

○ボランティア団体助成金　　15 団体　　助成総額　1,147,300 円

○主な行事･講座実績
ア　傾聴ボランティアフォローアップ研修(6 回開催、延べ 40 名参加)
イ　傾聴ボランティア養成研修(全 6 回、10 名受講) 8 名修了し、12 月 5 日団体立ち上げについて話し合いを持つ。令和 4 年 12 月 12 日団体発足
ウ　サマーボランティアスクール(5 日間、延べ 46 名参加)
8 月 22 日新型コロナウイルス感染症蔓延のため中止
エ　ウインターボランティアスクール(2 日間､延べ 16 名参加)
オ　災害ボランティアセンター･サポートスタッフ養成講座　飯南･飯高地域限定し開催。(11 期生(10 期生未修了者含む)、5 回開催、9 名受講 8 名修了)

○災害ボランティアセンター運営推進事業
ア　松阪市災害ボランティアセンター設置･運営について松阪市健康福祉総務課と打合せを行う(2 月 24 日、3 月 17 日)
イ　松阪多気ブロック災害時広域連携協議会で松阪･多気ブロックの強化に向け研修会に松阪市防災対策課･健康福祉総務課の職員と共に参加した(1 月 24 日大台町にてシミュレーション訓練)

○災害ボランティア活動　コロナ禍のため県外派遣なし

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
補助金(松阪市)	4,564,000	繰入金（自主財源）	510,000
寄附金	335,200		

(単位:円)

事 業 名	ふれあい体育祭事業	事業シート No２―１９
担当部署	福祉のまちづくり課 ボランティアセンター係	事業実績 821,000

【令和４年度の成果】

○令和２年、３年と新型コロナウイルス感染症で中止となっていたが、「心のふれあい」をテーマに障がい団体･事業所･ボランティアをオンラインでつなぎ画面上でのふれあいをした

○コロナ禍のためボランティアの人数も制限し、食事なしで会場も分散することで開催することができた

令和５年度への改善】

○新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら令和５年度は半日で集合開催をしていく

○多くのボランティアが参加できるようにしていく

◇活動実績

○実行委員会　4/27 24 名、7/27 21 名、10/5 18 名、1/11 16 名

○当日参加者

ア 障がい者団体　３団体 30 名(付き添い含む)

イ 障がい者事業所　６事業所 70 名(職員含む)

ウ ボランティア　一般 3 名　学生 42 名

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
補助金(松阪市)	721,000	寄付金	100,000

(９)日常生活自立支援事業 (単位:円)

事 業 名	日常生活自立支援事業	事業シート No２―２０
担当部署	福祉のまちづくり課権利擁護係	事業実績 27,327,417

【令和４年度の成果】

○事務効率化としてクラウドサービスの活用の検討、協議

ア　8/25　クラウドサービス「キントーン」の説明を聞く

イ　他市町社協、三重県社協にシステム導入などの情報収集を行う

○権利擁護支援の窓口機能について、成年後見センターと協働し、初期相談のスクリーニングの仕組みをまとめ、松阪市へ提案

○重層的支援ネットワーク会議に参加し、他の相談支援機関と意見交換することにより、松阪市の権利擁護支援における当事業の役割を示すことができた

○松阪市地域包括ケア推進会議にて成年後見制度、日常生活自立支援事業の現状や課題などを提供

○担い手充実における生活支援員の研修交流会の開催

○三雲支所と飯南支所に配属されたコミュニティソーシャルワーカーについて、三雲嬉野地域、飯南飯高地域で専門員と同様な活動を行い、次年度への 4 支所での専門員化へつなぐことができた

【令和 5 年度への改善】

○事務効率化を図るため、他の管理システムの検討協議も踏まえてシステム導入の協議

○スクリーニング機能を持たせることで、待機案件の整理を行う

○4 支所(嬉野、三雲、飯南、飯高)のコミュニティソーシャルワーカーについては、本所と同様に専門員として業務にあたる

◇活動実績

○令和 4 年度実績

区分	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計
相談援助件数	1473 件	338 件	2231 件	207 件	4249 件
契約件数	18 件	5 件	12 件	0 件	35 件
解約件数	24 件	1 件	9 件	2 件	36 件

○実利用者件数(令和 5 年 3 月末現在)

認知症高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計
70 件	48 件	62 件	10 件	190 件

○生活支援員関係

登録人数　29 名　　活動人数　26 名　　支援回数延べ　2980 回

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
受託金(県社協)	18,233,300	利用料助成金	890,400
利用料	2,262,800	繰入金	5,940,917

(10) 地域後見サポート事業　　(単位:円)

事 業 名	成年後見センター事業	事業シート No 2 ― 2 1
担当部署	福祉のまちづくり課権利擁護係	事業実績　12,048,368

令和 4 年度の成果】

○中核機関の設置協議

ア　地域後見サポート事業と日常生活相談支援事業で包括的に協議を重ね、初期相談のスクリーニング機能、地域の連携を図るためのネットワーク機能の体制整備を松阪市へ提案した

イ　三重県社協主催の成年後見推進に向けた課題解決会議や他市町社協、ぱあとなあ三重に対して情報収集を行う

○松阪市民向け研修会（地域後見サポート事業研修会）

ア　会場(本所･飯南)とオンラインでのハイブリット開催

本所:25 名、飯南:4 名、オンライン:21 名

○周知啓発

ア　松阪市地域包括ケア推進会議にて成年後見制度、日常生活自立支援事業の現状や課題などの事例を提供
イ　松阪市成年後見センターのパンフレットの刷新

【令和５年度への改善】
○中核機関の受任で行うこと
ア　日常生活自立支援事業と協働し、適切な制度や事業等へ繋げられるように権利擁護における相談受付でのスクリーニングを行い、課題解決方法の協議する
イ　権利擁護に関する地域の連携を図る目的で、裁判所などの司法分野も交えたネットワーク協議会を設置･開催に向けて、松阪市や地域包括支援センターなどと協議を行う
ウ　地域に身近な成年後見制度を目指して、一般市民にも参加しやすい内容･日程での制度啓発の講演会を実施する

◇活動実績
○成年後見センターの円滑な運営と推進
ア　広報･啓発　来所相談時のパンフレットを活用した説明、パンフレットの配布
イ　相談業務 226 件(認知 112 件、精神 53 件、知的 34 件、任意 12 件、不明 15 件)
ウ　利用支援　申立て支援(申立て書類作成支援･受理面談同席　24 件)
エ　関係機関との連携　成年後見推進に向けた課題解決会議（5 回）
○地域後見サポート事業研修会　11/25
○地域後見サポート事業運営委員会（6 回）
○中核機関に設置に向けた準備　　松阪市との協議（4 回）
○職員のスキルアップのための研修参加（14 回）
○松阪市成年後見審判申立審査会に審査委員として出席　（2 回）

【 財源内訳(単位:円）】

項目	金額	項目	金額
受託金(松阪市)	11,000,000	繰入金（法人後見）	751,247
繰入金（自主財源）	297,121		

(単位:円)

事 業 名	法人後見事業	事業シート No２－２２
担当部署	福祉のまちづくり課権利擁護係	事業実績　826,381

【令和４年度の成果】
○受任している９件の後見人等の業務を行う
○今年度、受任依頼は１件あったが、市外の施設に入所となり、法人後見事業の対象外となったため、受任を見送ることとなり新規受任はなし

【令和５年度への改善】
○新規受任依頼について、中核機関の一つである地域のネットワーク構築に関する協議を活用して、社協で受任することがふさわしい案件かどうか協議していく
○成年後見制度に関する相談に対して、これまでの実務や相談事例などを踏まえ、相談対応を行っていく

◇活動実績

○法人後見(後見　4件、保佐　5件)受任

○内訳:入院･入所　3件、在宅　6件

○裁判所への定期報告　9件

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
自己負担金 (後見等事務費)	50,381	利用料 (後見等報酬)	776,000

(11)生活困窮者自立支援事業　(単位:円)

事 業 名	生活困窮者自立支援事業	事業シート No２－２３
担当部署	福祉のまちづくり課生活相談支援係	事業実績　22,337,730

【令和4年度の成果】

○相談支援

ア　新型コロナウイルス感染症感染拡大以前と比べると未だ相談件数は多いが、コロナ禍(令和2～3年度)に急増した相談件数が少し落ち着きをみせ、ひとり一人の相談に寄り添うことができはじめた

イ　コロナ特例貸付を始めとした生活福祉資金の相談に生活相談支援センター職員が同席する。必要な方には、他の適切な支援策や就労支援、家計改善支援などを紹介するなど課題への早期介入を図った

○支援調整会議の開催

ア　新型コロナウイルス感染症の感染拡大により縮小開催としてきた支援調整会議を7月から通常開催に戻し、支援内容の協議拡充を図った

○住居確保給付金

ア　新型コロナウイルス感染症の特例や原油価格･物価高騰等総合緊急対策による就職活動要件の緩和等の措置が令和5年3月末日で終了。緩和措置が取られ増加した受付事務及び相談支援を行った

○新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金

ア　受付期間延長を経て、令和4年12月末日で受付終了。対象者に対して、受付事務及び相談支援を行った

○無料職業紹介所

ア　共同募金の企業周りに同行し、無料職業紹介についての説明と協力の呼びかけを行った。新たに1事業所の求人登録ができた

○関係機関との連携

ア　コミュニティソーシャルワーカーと生活相談支援センターが中心になり事例検討会を2回開催。連携方法(役割分担や協働)などの整理･検討を行った

イ　共同募金の生活応援福祉の取り組みと連携し、スーツ貸出や放置自転車の就労支援への活用について検討した

ウ　松阪市と空き家対策や企業の社会貢献活動を困窮者支援に活かせないかなどの相談･検討を行った

エ　ひきこもり相談窓口、生活福祉資金、日常生活自立支援センター、成年後見センターなどそれぞれの担当者と協議の場を持ち、連携を図った。多機関が参加する外部の研修や会議にも積極的に参加した

【令和5年度への改善】

○新型コロナウイルス感染症に関連する施策の多くが終了となり、既存の制度等での対応を検討し、相談支援、就労支援、家計改善支援、就労準備支援の活用や関係機関との連携により、きめ細かい伴走型の支援を行う。必要な方へ積極的にアウトリーチを行っていく

○多機関協働事業や福祉まるごと相談室、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業、参加支援事業、他の包括的相談支援事業など、関係機関と協働し、重層的支援体制の一端を担っていく

○令和4年度に共同募金担当や松阪市と協議をしてきた取り組みを、具体的な形にしていけるよう相談･検討を継続していく

○ひきこもり相談窓口や生活福祉資金、日常生活自立支援センター、成年後見センターなどとの協議や、コミュニティソーシャルワーカー等との事例検討会を継続し、知識を深めながら本会内の連携や役割分担などの整理を進めていく

◇活動実績

○相談支援

ア　新規相談受付件数:602件(令和3年度実績697件)

イ　継続相談件数:5,853件(令和3年度実績5,887件)

ウ　プラン作成件数:58件(令和3年度実績39件)

○就労支援

ア　就職決定者:72名(令和3年度実績82名)

イ　面接のためのスーツ貸出:4件(令和3年度実績7件)

ウ　履歴書証明写真の撮影:9件(令和3年度実績6件)

○住居確保給付金

ア　延べ相談件数:845件(令和3年度実績:2,025件)

イ　申請件数:49件(令和3年度実績:86件)

ウ　支給決定件数:49件(令和3年度実績:86件)

○新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金(令和3年7月からR4年12月まで)

ア　延べ相談件数:704件(令和3年度実績:752件)

イ　申請件数:46件(令和3年度実績:98件)

ウ　支給決定件数:51件(令和3年度実績:93件)

○その他

ア　相談支援員養成研修　1名修了

イ　就労支援員養成研修　1名修了

ウ　職業紹介責任者講習会　2名修了

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
受託金(松阪市)	20,057,385	繰入金(自主財源)	2,280,345

(単位:円)

事 業 名	生活困窮者家計改善支援事業	事業シート No２－２４
担当部署	福祉のまちづくり課生活相談支援係	事業実績 5,557,237

【令和４年度の成果】

○コロナ禍(令和 2～3 年度)に急増した自立相談支援の相談件数が少し落ち着きをみせ、家計改善支援が必要な人への働きかけができるようになり、家計改善支援の相談件数、家計再生プラン作成件数共に増加した

○債務の状況により、法テラスや多重債務連携システム、消費生活センターなどを通じて弁護士や司法書士等へつなぎ、必要に応じて同行支援を行った

○生活福祉資金のコロナ特例貸付の償還免除や償還猶予の申請に生活相談支援センター職員が同席し、家計改善支援につながるよう相談者へ働きかけを行った

【令和５年度への改善】

○家計改善支援の相談件数､家計再生プラン作成件数共に令和４年度は増加に転じたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大以前と比べると少ない状況。家計改善支援が必要な方が家計再生プランの作成につながるよう働きかけをしていく

○コロナ特例貸付の償還に関する相談や生活福祉資金の新規相談に関する相談の窓口を家計改善支援員が担い、生活福祉資金担当と連携しながら家計改善支援が必要な方に働きかけを行う

○就労支援員やハローワーク松阪｢就労の広場｣などと連携し、収入増による家計改善に取り組んでいく

◇活動実績

○家計再生プラン作成･相談件数等

ア　相談件数(延べ):800 件(令和 3 年度実績 640 件)

イ　家計再生プラン作成件数:17 件(令和 3 年度実績 5 件)

ウ　弁護士や司法書士等への連携支援:14 件(令和 3 年度実績 8 件)

○主な支援の内容

ア　家計管理に関する支援(相談時家計表及び家計計画表の作成など､家計の｢見える化｣を実施)

イ　分納相談や支出軽減手続き及び家計の状況により生活保護の相談への同行などの支援(収納課、保険年金課、介護保険課、保護課、弁護士･司法書士など)

ウ　貸付の斡旋にまつわる支援(生活福祉資金)

○その他

ア　家計改善支援員養成研修　1 名修了

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
受託金(松阪市)	5,155,000	繰入金（自主財源）	402,237

（単位:円）

事 業 名	生活困窮者就労準備支援事業	事業シート No２－２５
担当部署	福祉のまちづくり課生活相談支援係	事業実績　6,045,526

【令和４年度の成果】

○ひきこもり相談窓口との連携により、相談者の状況に合わせた就労準備支援プログラムを５件実施

○就労準備支援プログラムのボランティア体験と就労体験で、体力づくりと就労への自信をつけることで、１名を一般就労へ繋ぐことができた

○就労体験及びボランティア体験協力事業所への新規登録事業所の開拓のため、共同募金法人募金依頼へ同行し、新たに７事業所の登録を得ることができた

○ひきこもり等、社会との関りが希薄な方のボランティア体験先として、動物の世話やふれあいが可能な動物園に、ボランティア体験協力事業所として登録を得た

○体調面の不安が払拭されない方でも社会参加が可能となるよう、内職やポスティングの会社とつながることができ、就労体験の選択肢を広げることができた

○ひきこもりや不登校で悩んでいる方のお宅に、積極的にアウトリーチを行うことができた

【令和５年度への改善】

○令和４年度の就労準備支援プログラム作成件数５件すべてが、ひきこもり相談窓口からつながれた方であった。ひきこもり相談窓口との連携は維持しながら、さらなる事業の周知を行い、相談経路を増やしていく

○就労自立段階の前段階の対象とした就労準備支援プログラムのメニュー開発が必要である

○協力事業所として現在登録のない業種、特に事務系や工場系の企業とつながり、体験先の選択肢を増やしていく

◇活動実績

○就労準備支援プログラム作成･相談件数等

ア　相談件数(延べ):157 件(令和３年度実績 45 件)

イ　就労準備支援プログラム作成件数:5 件(令和３年度実績２件)

ウ　協力事業所:22 事業所(そのうち７事業所は令和４年度新規登録)

○主な支援の内容

ア　ベルファームと(株)ドリームテクノへ、１日６時間、合計 11 日間の就労体験(11～12 月)実施後、一般就労へつながる(1 月)

イ　むらさきやお化粧体験、三雲支所夏祭り運営補助、サマースクール運営補助(8 月)、タケガワ動物園ボランティア体験(2～3 月)、共同募金景品作りボランティア体験(10 月)、JA みえなかフェスティバルボランティア参加(11 月)

ウ　いっぽ教室ボランティア見学(12 月)、(株)NAKAGAWA 見学(11 月)、(株)サンショク(ポスティング)就労契約同席(1 月)

エ　履歴書添削、面接練習(11 月)

○その他

ア　就労準備支援員養成研修　1名修了

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
受託金(松阪市)	5,760,000	繰入金（自主財源）	285,526

（単位:円）

事 業 名	猫一時預かり事業	事業シート No２―２６
担当部署	福祉のまちづくり課 ボランティアセンター係	事業実績　270,000

【令和4年度の成果】

○令和5年度に事業を開始するための準備として、保健所･松阪市環境課･獣医師と関係構築を行った

○事業啓発のため、先進地である北海道苫小牧市社協の担当者を講師にzoomを使い、講演会を開催した

○ボランティア養成講座に動物保護団体の職員を講師に迎え、ボランティアについてや猫預かりの基本を学ぶ場を作ることができた

【令和5年度への改善】

○猫一時預かり事業の要綱を整備する

○ボランティア10名確保に向けての啓発を行う

◇活動実績

○担当者間協議　11回

○講演会　11/26　参加人数　19名

○ボランティア養成講座　3/5　受講人数　5名

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額	項目	金額
助成金(県社協)	240,000	寄付金	30,000

第４章　在宅福祉サービス部門

１　部門総括

令和４年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい年でした。三重県の社会的PCR 検査による感染者の早期発見や感染症対策を実施しながら事業を行いました。しかし、利用者･職員の感染により事業休止を余儀なくされた事業所もあり、利用者･ご家族にご心配･ご不便をおかけしました。限られた職員でシフト調整を行い、事業が早期に再開できるように努めましたが、事業再開後もしばらくの間はサービス利用の自粛が続き、収益に大きな影響が出ました。また、過疎地の人口減少による利用者減や設備の老朽化による修繕、水光熱費の高騰により収益が減少しました。今後も厳しい事業運営が予測されることから、収益改善策を講じ事業所の安定経営を図ります。

令和５年度末に指定管理期間の満了を迎えるにあたり、優先して指定管理施設の施設マネジメント協議を行いました。松阪市より飯南高齢者生活福祉センターにおいて令和６年度から 10 年間の貸付公募に応募し、貸付事業者として選定されました。

施設・事業マネジメントを進めるにあたっては、必要性･採算性について一定の基準を設け、施設･事業仕分けを行いました。仕分けの結果、見直しが必要な事業については、事業の継続そのものを再検討し、期限までに改善策の効果が無い場合は、事業の統廃合の対象とすることや、地域にとって必要性の高い事業については事業継続をする今後の方向性を導き出しました。

本会においても介護職員不足は大きな問題であり、専門職の確保を含め、今後も施設･事業マネジメントを推進していきます。

２　事業シート

（１）在宅福祉サービス事業　　（単位:円）

事 業 名	在宅福祉サービス事業	事業シート No３－１
担当部署	在宅福祉サービス課	事業実績　　975,556

【令和４年度の成果】

○感染症･虐待防止研修の実施

○施設･事業マネジメントの方針決定

ア　みくもホーム

（ア）　短期入所事業を廃止し、令和５年度より入所定員数を７床に変更

（イ）　調理方法見直しによる職員の負担軽減と人件費削減

イ　サン・ウイングスみくも

令和５年度より生活介護の利用定員を 15 名に拡大

ウ　嬉野ゆうゆう

松阪市と協議の結果、令和 10 年度まで賃貸借契約期間延長が決定

○令和６年度からの飯南高齢者生活福祉センターの貸付公募に応募し、貸付事業者として選定された

○令和５年度から新たな加算を取得することを決定
○登録ヘルパーの移動時間手当･休業手当の支給
○居宅介護支援事業所のサービス提供票自動仕分けシステム導入による事務負担軽減及び経費の削減
○通所介護事業所のサービス提供時間拡大による収益改善(飯南通所)
○試験対策講座の開催による資格取得支援(介護支援専門員･介護福祉士)
○要介護認定調査員の委託料見直しと募集方法変更による調査員の確保
○物価高騰による食費の値上(はーとりあ飯高)

【令和５年度への改善】
○施設の老朽化による修繕･設備更新について松阪市との協議
○物価高騰の影響による利用者負担金の見直しと検討
○有資格者を増やすための取組み(資格取得支援事業)
○受託事業のマネジメント
○事業マネジメントの進捗管理
○BCP の策定
○感染症対策委員会及び虐待防止委員会の開催
○令和６年度から義務化される研修及び訓練、シミュレーションの実施

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額
繰入金(自主財源)	975,556

事 業 名	初任者研修事業	事業シート No３－２
担当部署	在宅福祉サービス課	

○研修講師を職員が務めたことでスキルアップにつながった
○令和３年度初任者研修を中止したため、申込者に案内を送付し令和４年度受講につながった
○受講生１名が本会事業所に就職
○事業マネジメントの結果、令和４年度末に事業廃止

◇活動実績
9 /20～12/15 までの 22 日間の介護職員初任者研修開講(受講生 10 名)

【 財源内訳(単位:円) 】

項目	金額
参加費	614,250

(２)高齢者福祉サービス

事業種別	訪問介護事業(松阪･飯南)	事業シート No３－３
事業所名	訪問介護事業所	

【令和４年度の成果】
○新型コロナウイルスの感染拡大により通所事業が休止となった利用者に訪問を実施した

○感染症対策を講じながら新型コロナウイルス感染者への訪問サービスを継続した
○シフト見直しによる新規受け入れ枠の確保
○登録ヘルパーの移動時間手当・休業手当の支給
○研修参加による資質向上
○令和５年度からの特定事業所加算Ⅱを取得することを決定
○居宅介護支援事業所への営業活動による新規利用者の獲得
○シフト見直しによる経費削減(移動時間手当・移動手当)

【令和５年度への改善】
○BCP の策定(事業シート No3- 3 ～No3-19 まで共通)
○感染症対策委員会及び虐待防止委員会の開催(事業シート No3- 3 ～No3-19 まで共通)
○令和６年度から義務化される研修及び訓練、シミュレーションの実施(事業シート No3- 3 ～No3-19 まで共通)
○周知活動強化による利用者及び職員確保
○特定事業所加算Ⅱ算定による収益改善

【事業活動収支(単位:円)】

	松阪支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	31,876,610	22,859,881	54,736,491
事業活動支出	30,302,395	28,638,966	58,941,361
差引	1,574,215	△5,779,085	△4,204,870

事業種別	通所介護事業(嬉野・三雲・飯南・飯高)	事業シート No３－４
事業所名	通所介護事業所	

【令和４年度の成果】
○職員の感染が相次いだが、支所内の応援により事業を継続した(嬉野支所)
○利用者及び職員の感染により、事業を休止し、感染症拡大を最小限に抑制できた(飯南通所延９日間、飯高通所延３日間)
○事業休止中は、電話により利用者の健康状態を把握した
○サービス提供時間拡大による収益改善(飯南通所)
○令和５年度の新たな加算を取得することを決定(機能訓練加算・中重度者ケア加算)
○研修参加による資質向上

【令和５年度への改善】
○中重度者ケア加算・機能訓練加算取得による収益改善
○利用者ニーズに沿った訪問美容の導入(三雲通所)
○利用定員数の見直し
○周知活動強化による利用者確保

【事業活動収支(単位:円)】

	嬉野支所	三雲支所	飯南支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	71,365,180	54,947,310	74,882,659	67,525,784	268,720,933
事業活動支出	66,874,435	51,332,490	67,969,988	64,574,518	250,751,431
差引	4,490,745	3,614,820	6,912,671	2,951,266	17,969,502

事業種別	総合事業(松阪)	事業シート No３－５
事業所名	福っきー体操くらぶ	

【令和４年度の成果】

○松阪支所まつり体操体験コーナーでの事業周知及びニーズに沿ったプログラム提供により新規利用につながった

○利用者やボランティアが講師役をすることで、やりがいにつながった

○非常勤職員雇用により、事務負担を軽減

【令和５年度への改善】

○地域包括支援センターなどへの周知活動による新規利用者の獲得

【事業活動収支(単位:円)】

	松阪支所
事業活動収入	14,082,070
事業活動支出	13,640,602
差引	441,468

事業種別	外出支援通所サービス運営事業(嬉野･飯高)	事業シート No３－６
事業所名	嬉野いきいき･飯高サテライト	

【令和４年度の成果】

○利用者アンケートを実施し、事業課題や地域課題などを関係機関と共有した

○職員交流による情報交換

○利用者減になったが、関係機関からの紹介等で利用者数が維持できた

○事業周知のためチラシを配布し、新規利用につながった（サテライト）

○業務内容見直しによる時間外の削減

【令和５年度への改善】

○利用者アンケートを実施し、地域課題を事業内容に反映できるように検討

○受託事業マネジメントによる事業の見直しと松阪市との協議

【予算額(単位:円)】

	嬉野支所	飯高支所
受託金収入	6,582,000	8,261,000
事業収入	949,020	464,100
事業活動支出	7,531,020	8,725,100
差引	0	0

事業種別	居宅介護支援事業(松阪･嬉野･飯高)	事業シート No３－７
事業所名	居宅介護支援事業所	

【令和４年度の成果】

○事業休止によりサービス利用できなくなった利用者に対し、代替サービスを調整
○サービス提供票自動仕分けシステム導入による事務負担軽減と経費削減
○研修参加による資質向上
○合同研修会による他法人との連携強化
○特定事業所加算Ⅰを算定(松阪支所)
○加算シートや新人マニュアルを見直し、新人職員への指導に活用した

【令和５年度への改善】

○医療機関との情報共有と連携強化
○令和６年度介護保険制度改正の情報収集
○業務の効率化による業務負担軽減及び時間外の削減
○重層的支援体制整備事業との連携
○面接技術及びケアマネジメント力の向上

【事業活動収支(単位:円)】

	松阪支所	嬉野支所	飯高支所	計
事業活動収入	60,738,950	67,312,850	37,121,980	165,173,780
事業活動支出	53,553,409	56,296,258	34,402,992	144,252,659
差引	7,185,541	11,016,592	2,718,988	20,921,121

事業種別	地域包括支援センター事業 ※介護予防支援事業含む	事業シート No３－８
事業所名	第二地域包括支援センター 第三地域包括支援センター	

【令和４年度の成果】

○関係部署と情報共有･連携を図り、見守りネットワークを強化
○民生委員児童委員の定例会で事業周知を図った
○地域包括支援センター共通の感染症発生時における BCP を策定
○医師主催の勉強会への参加と医療連携強化
○認知症施策の普及啓発（郵便局員及び生徒）
○文化祭で相談及び周知活動を行った
○地域課題について情報共有と対応策を検討
○地域担当や松阪市と連携し、移動販売と無人販売について協議を行った
○お助け隊ボランティアの立ち上げについて地域担当、コミュニティソーシャルワーカーと共に支援した
○生活困窮者への自立支援に向けた関係機関との情報共有と連携強化
○虐待防止を含む見守り強化と関係機関との連携

○外部講師による虐待防止啓発講座の開催
○福祉まるごと相談室と連携し、多様な生活課題の解決に取り組んだ

【令和５年度への改善】
○地域課題解決にむけた協議と事業への展開
○地域担当、まるごと相談室、コミュニティソーシャルワーカーとの連携・協働による地域づくり
○地域の見守り活動事例を通じた周知啓発活動

【決算額(単位:円)】(※予防プランのみ)

	第二包括	第三包括	収支計
事業活動収入	16,172,180	5,629,900	21,802,080
事業活動支出	16,053,103	4,293,405	20,346,508
差引	119,077	1,336,495	1,455,572

事業種別	介護保険認定調査事業(松阪･嬉野･飯高)	事業シート No３－９
事業所名	居宅介護支援事業所	

【令和４年度の成果】
○認定調査員の委託料見直しと募集方法変更による調査員確保
○資格更新費用の支給
○新人認定調査員へ研修を実施し、資質向上に努めた
○認定調査員の意見交換会を実施し、情報共有を図った

【令和５年度への改善】
○新人認定調査員のスキルに合わせた研修サポート
○認定調査審査室との連携･情報共有
○年２回の情報交換会の実施
○新しい調査員の確保と育成
○調査マニュアルの作成

【事業活動収支(単位:円)】

	松阪支所	嬉野支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	18,292,520	4,133,800	1,326,400	23,752,720
事業活動支出	13,997,653	3,499,404	861,993	18,359,050
差引	4,294,867	634,396	464,407	5,393,670

(３)障がい者福祉サービス

事業種別	移動支援サービス事業(松阪･飯高)	事業シート No３－１０
事業所名	訪問介護事業所	

【令和４年度の成果】
○シフト見直しによる新規受け入れ枠の確保
○登録ヘルパーの移動時間手当と休業手当の支給
○研修参加による資質向上

○相談支援事業所への営業活動による新規利用者の獲得
○シフト見直しによる経費削減(移動時間手当･移動手当)

【令和５年度への改善】
○周知活動強化による利用者及び職員確保
○収益改善策の実施(特定事業所加算Ⅱ)

【事業活動収支(単位:円)】

	松阪支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	385,750	514,600	900,350
事業活動支出	136,793	121,845	258,638
差引	248,957	392,755	641,712

事業種別	居宅介護事業(松阪･飯高) ※同行援護を含む	事業シート No３－１１
事業所名	居宅介護事業所	

【令和４年度の成果】
○新型コロナウイルスの感染拡大により通所事業が休止となった利用者に訪問を実施した
○感染症対策を講じながら新型コロナウイルス感染者への訪問サービスを継続した
○シフト見直しによる新規受け入れ枠の確保
○登録ヘルパーの移動時間手当･休業手当の支給
○研修参加による資質向上
○令和５年度からの特定事業所加算Ⅱを取得することを決定
○相談支援事業所への営業活動による新規利用者の獲得
○シフト見直しによる経費削減(移動時間手当･移動手当)

【令和５年度への改善】
○周知活動強化による利用者及び職員確保
○特定事業所加算Ⅱ算定による収益改善

【事業活動収支(単位:円)】

	松阪支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	14,614,374	7,823,870	22,438,244
事業活動支出	14,322,319	2,837,575	17,159,894
差引	292,055	4,986,285	5,278,350

事業種別	生活介護事業（嬉野）	事業シート No３－１２
事業所名	生活介護事業所	

【令和４年度の成果】
○サービス管理責任者基礎研修を受講し、職員のスキルアップ及び有資格者の確保
○入浴介助マニュアルを作成し、利用者個々の状態に応じた入浴支援を実施
○赤い羽根共同募金活用による小学生との web 交流会や地域ボランティアとの交流
○看護師の増員により、看護師加算の上位区分を算定

○渡会特別支援学校２年生の実習受け入れ

【令和５年度への改善】

○空き状況の周知や特別支援学校への訪問による新規利用者の獲得

○利用者アンケートによる課題把握と課題解決

○関係機関との連携強化

【事業活動収支(単位:円)】

	嬉野支所
事業活動収入	48,733,774
事業活動支出	45,930,586
差引	2,803,188

事業種別	就労継続支援Ｂ型事業(松阪･嬉野･飯高)	事業シート No３－１３
事業所名	えみわーく、嬉野ゆうゆう、飯高じゃんぷ	

【令和４年度の成果】

○嬉野ゆうゆうは、松阪市と協議した結果、令和 10 年度までの賃貸借契約期間延長が決定

○利用者個々の状態に応じた支援方法の見直し

○地域イベントに出店し、自主製品の販売や住民との交流を図った

○就労継続支援Ａ型事業所や一般就労への移行支援を行った

○済生会松阪総合病院からの弁当受注により販売事業収入が増加した

○三重県のカフェネットワークへの登録や、視察受け入れによる関係団体への周知

【令和５年度への改善】

○利用者の能力に応じた請負作業の見直し

○勤務体制や運営方法を見直しによる調理担当職員の負担軽減

○相談支援事業所や特別支援学校への周知活動強化による新規利用者の獲得

○工賃向上計画の進捗管理

○学校との作品交換展示や地域イベントでの自主製品販売による工賃向上

○周知活動による特別支援学校の実習生受入れ

【事業活動収支(単位:円)】

	松阪支所	嬉野支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	21,910,615	28,445,837	36,613,861	86,970,313
事業活動支出	29,606,766	31,987,390	30,057,752	91,651,908
差引	△7,696,151	△3,541,553	6,556,109	△ 4,681,595

事業種別	多機能型事業(三雲･飯南)	事業シート No３－１４
事業所名	サン･ウイングスみくも、夢風船	

【令和４年度の成果】

○利用者及び職員の感染により、事業を休止し、感染拡大防止に努めた
（夢風船延３日間、サン・ウイングスみくも１日）

○生活介護連絡協議会へ参加し、情報交換から自主製品の販売につながった
○新たな自主製品を開発し、自主製品の売上増につながった
○令和５年度から生活介護の利用定員を 15 名に拡大する方針を決定
○相談支援事業所や特別支援学校への訪問による新規利用者の獲得
○人材バンク利用による契約職員２名採用
○利用者個々の状態に応じた支援方法の見直し

【令和５年度への改善】
○利用者の能力に応じた請負作業の見直し
○請負作業を確保するために共同受注窓口の利用を検討
○自主製品の販路の拡大
○相談支援事業所や特別支援学校への周知活動強化による新規利用者の獲得

【事業活動収支(単位:円)】

	三雲支所	飯南支所	収支計
事業活動収入	49,933,582	45,839,184	95,772,766
事業活動支出	43,517,047	42,288,545	85,805,592
差引	6,416,535	3,550,639	9,967,174

事業種別	日中一時支援事業(嬉野･三雲･飯南･飯高)	事業シート No３－１５
事業所名	嬉野ゆうゆう、サン･ウイングスみくも、 夢風船、飯高じゃんぷ	

【令和４年度の成果】
○利用者及び職員の感染により、事業を休止し感染拡大防止に努めた。(夢風船６日間)
○地域担当や民生委員児童委員、ボランティアとの連携による新規利用者の確保
○新規利用者を確保するため日中一時の受け入れを行った

【令和５年度への改善】
○相談支援事業所や特別支援学校への周知活動強化による新規利用者の獲得
○利用者個々の状態に応じた支援方法の見直し

【事業活動収支(単位:円)】

	嬉野支所	三雲支所	飯南支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	274,090	4,308,350	6,629,554	756,489	11,968,483
事業活動支出	40,000	147,594	817,716	256,346	1,261,656
差引	234,090	4,160,756	5,811,838	500,143	10,706,827

事業種別	外部サービス利用型共同生活援助事業 (三雲･飯高)	事業シート No３－１６
事業所名	みくもホーム、はーとりあ飯高	

【令和４年度の成果】
○地域イベント参加による、住民との交流や施設の周知

○サン・ウイングスみくも日中一時支援の利用による世話人の勤務時間を削減
○令和５年度より定員７床に変更することを決定(みくもホーム)
○調理方法見直しによる職員の負担軽減と人件費削減(みくもホーム)
○余暇活動の見直しや日中一時の利用による入所者のストレス軽減
○研修会参加による資質向上

【令和５年度への改善】
○空床時は施設生活体験訓練入所を提供し入所につなげる
○相談支援事業所への周知活動強化による新規利用者の獲得
○利用者個々のニーズ把握による、必要に応じた外部委託サービスの利用
○職員のシフト見直しによる勤務体制の整備
○防災訓練(社協や地域)への参加を通じ、利用者個々の防災意識を高める

【事業活動収支(単位:円)】

	三雲支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	8,301,520	14,777,910	23,079,430
事業活動支出	7,472,789	14,137,251	21,610,040
差引	828,731	640,659	1,469,390

事業種別	短期入所事業(三雲)	事業シート No３－１７
事業所名	みくもホーム	

【令和４年度の成果】
○利用者ニーズに対応し、稼働率アップにつなげた
○事業マネジメントにより、令和４年度末で短期入所事業を廃止する方針を決定
○利用者へ事業廃止の説明を行い、令和５年度からの入所につながった

【事業活動収支(単位:円)】

	三雲支所
事業活動収入	4,144,590
事業活動支出	5,314,059
差引	△ 1,169,469

事業種別	障がい者特定相談事業・障がい児相談事業(松阪)	事業シート No３－１８
事業所名	福らむ	

【令和４年度の成果】
○感染症対策計画を作成し、モニタリングを実施
○web を活用した研修会への参加による資質向上
○成年後見制度の利用や関係機関との連携
○他法人の事業縮小による利用者受入れの検討

【令和５年度への改善】
○新人職員の育成と引継ぎ
○会議や研修参加による資質向上

【事業活動収支(単位:円)】

	松阪支所
事業活動収入	13,077,980
事業活動支出	9,720,234
差引	3,357,746

(４)その他の福祉サービス

事業種別	福祉有償運送事業(松阪･飯高)	事業シート No３－１９
事業所名	訪問介護事業所	

【令和４年度の成果】

○感染症対策により、新型コロナウイルス感染拡大を最小限に抑制できた

○研修参加による資質向上

○院内介助、同行援護などの併用利用による収益改善

○利用者ニーズに応えるため、対応できる有資格者を増やした

【令和５年度への改善】

○事業の今後のあり方について協議

【事業活動収支(単位:円)】

	松阪支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	38,800	60,700	99,500
事業活動支出	38,376	4,036	42,412
差引	424	56,664	57,088

第５章　附属資料

１　法人運営部門

(１)法人の運営

①理事会･評議員会･監事監査

項目 (出席者)	開催日	議題など
第１回理事会 (理事:９名) (監事:２名)	R4.4.26(火) 書面決議	第１号議案　評議員選任･解任委員の選任について 第２号議案　評議員選任候補者の推薦について 第３号議案　令和 4 年度評議員選任･解任委員会の開催について 第４号議案　通所介護及び第１号通所事業(通所介護相当サービス)運営規程(松阪社協嬉野支所通所介護事業所)の一部改正について 第５号議案　通所介護及び第１号通所事業(通所介護相当サービス)運営規程(松阪社協三雲支所通所介護事業所)の一部改正について 第６号議案　通所介護及び第１号通所事業(通所介護相当サービス)運営規程(松阪社協飯南支所通所介護事業所)の一部改正について 第７号議案　通所介護及び第１号通所事業(通所介護相当サービス)運営規程(松阪社協飯高支所通所介護事業所)の一部改正について 第８号議案　訪問介護及び第１号訪問事業(訪問介護相当サービス)運営規程(松阪社協松阪支所訪問介護事業所) の一部改正について 第９号議案　訪問介護及び第１号訪問事業(訪問介護相当サービス)運営規程(松阪社協飯高支所訪問介護事業所) の一部改正について
決算監査 (監事:２名)	R4.6.1(水)	(１)令和３年度事業報告について (２)令和３年度収支決算について
第２回理事会 (理事:８名)	R4.6.9(木)	第１号議案　令和３年度事業報告について 第２号議案　令和３年度収支決算について

(監事:2名)		第3号議案　令和4年度第1次補正収支予算について 第4号議案　業務管理体制整備規程の一部改正について 第5号議案　居宅介護支援事業運営規程(松阪社協松阪支所居宅介護支援事業所)の一部改正について 第6号議案　居宅介護支援事業運営規程(松阪社協嬉野支所居宅介護支援事業所)の一部改正について 第7号議案　居宅介護支援事業運営規程(松阪社協飯高支所居宅介護支援事業所)の一部改正について 第8号議案　日中一時支援事業運営規程(サン・ウイングスみくも)の一部改正について 第9号議案　令和4年度定時評議員会の開催について 報告事項①　会長及び常務理事の職務執行状況報告について 報告事項②　三重県共同募金会松阪市共同募金委員会決算報告について
定時評議員会 (評議員:11名) (理事:2名) (監事:1名)	R4.6 23(木)	第1号議案　令和3年度事業報告の承認について 第2号議案　令和3年度収支決算の承認について 第3号議案　令和4年度第1次補正収支予算の承認について 報告事項　三重県共同募金会松阪市共同募金委員会決算報告について
随時監査 (監事:2名)	R4.11.22(火)	(1)令和4年度中間事業報告について (2)令和4年度中間収支決算について
第3回理事会 (理事:7名) (監事:2名)	R4.11.30(水)	第1号議案　定款の一部変更について 第2号議案　職員給与規程の一部改正について 第3号議案　職員就業規則の一部改正について 第4号議案　契約職員就業規則の一部改正について 第5号議案　非常勤職員就業規則の一部改正について 第6号議案　登録ヘルパーの雇用等に関する就業規則の一部改正について 第7号議案　介護休業及び介護短時間勤務に関する規程の一部改正について

第3回理事会 ～続き～		第8号議案　育児休業及び育児短時間勤務に関する規程の一部改正について 第9号議案　育英基金設置規程の一部改正について 第10号議案　松阪市飯南町育英基金の設置及び管理並びに奨学金の貸付に関する規程の廃止について 第11号議案　松阪市生活福祉資金調査委員会運営規程の廃止について 第12号議案　居宅介護支援事業運営規程(松阪社協松阪支所居宅介護支援事業所)の一部改正について 第13号議案　居宅介護支援事業運営規程(松阪社協嬉野支所居宅介護支援事業所)の一部改正について 第14号議案　居宅介護支援事業運営規程(松阪社協飯高支所居宅介護支援事業所)の一部改正について 第15号議案　就労継続支援Ｂ型事業運営規程(えみわーく)の一部改正について 第16号議案　就労継続支援Ｂ型事業運営規程(嬉野ゆうゆう)の一部改正について 第17号議案　就労継続支援Ｂ型事業運営規程(飯高じゃんぷ)の一部改正について 第18号議案　生活介護事業運営規程(松阪社協嬉野支所生活介護事業所)の一部改正について 第19号議案　多機能型事業運営規程(サン・ウイングスみくも)の一部改正について 第20号議案　多機能型事業運営規程(夢風船)の一部改正について 第21号議案　日中一時支援事業運営規程(嬉野ゆうゆう)の一部改正について 第22号議案　日中一時支援事業運営規程(サン・ウイングスみくも)の一部改正について 第23号議案　日中一時支援事業運営規程(夢風船)の一部改正について 第24号議案　外部サービス利用型共同生活援助事業運営規程(みくもホーム) の一部改正について

第3回理事会 ～続き～		第25号議案　外部サービス利用型共同生活援助事業運営規程(はーとりあ飯高）の一部改正について 第26号議案　令和4年度第2次補正収支予算について 第27号議案　令和4年度中間事業報告について 第28号議案　令和4年度中間収支決算について 第29号議案　令和4年度第2回評議員会の開催について 報告事項　松阪市社会福祉協議会施設･事業マネジメントについて
第4回理事会 (理事:9名) (監事:2名)	R4.12.9(金) 書面決議	第1号議案　令和4年度第2回評議員会の開催について
第2回 評議員会 (評議員:13名) (理事:2名) (監事:1名)	R4.12.19(月)	第1号議案　定款の一部変更について 第2号議案　令和4年度第2次補正収支予算の承認について 第3号議案　令和4年度中間事業報告の承認について 第4号議案　令和4年度中間収支決算の承認について 報告事項　施設･事業マネジメントについて
第5回理事会 (理事:7名) (監事:1名)	R5.1.11(水)	第1号議案　役員選任候補者の推薦について 第2号議案　評議員選任候補者の推薦について 第3号議案　令和4年度第2回評議員選任･解任委員会の開催について 第4号議案　令和4年度第3回評議員会の開催について
第3回評議員会 (評議員:11名) (理事:2名) (監事:1名)	R5.1.27(金)	第1号議案　役員の選任について
第6回理事会 (理事:9名) (監事:2名)	R5.2.8(水)	第1号議案　副会長の選定について
第7回理事会 (理事:8名) (監事:1名)	R5.3.1(水)	第1号議案　令和4年度第3次補正予算について 第2号議案　第Ⅴ期経営計画について 第3号議案　令和5年度事業計画について 第4号議案　令和5年度当初予算について

第7回理事会 ～続き～		第5号議案　評議員選任規程の一部改正について 第6号議案　役員選任規程の一部改正について 第7号議案　事務局規程の一部改正について 第8号議案　経理規程の一部改正について 第9号議案　短期入所事業運営規程(みくもホーム)の廃止について 第10号議案　工賃支払い規程(就労継続支援Ｂ型事業所えみわーく)の新設について 第11号議案　工賃支払い規程(嬉野ゆうゆう)の新設について 第12号議案　工賃支払い規程(サン・ウイングスみくも就労Ｂ)の新設について 第13号議案　工賃支払い規程(サン・ウイングスみくも生活介護)の新設について 第14号議案　工賃支払い規程(障害者多機能型事業所夢風船)の新設について 第15号議案　工賃支払い規程(飯高じゃんぷ)の新設について 第16号議案　施設の長他の重要な職員の選任について 第17号議案　令和4年度第4回評議員会の開催について 報告事項①　会長及び常務理事の職務執行状況報告について 報告事項②　新型コロナウイルス感染状況及び対応報告について 報告事項③　施設･事業マネジメントについて
第4回評議員会 (評議員:14名) (理事:2名) (監事:1名)	R5.3.9(木)	第1号議案　令和4年度第3次補正予算の承認について 第2号議案　第Ⅴ期経営計画の承認について 第3号議案　令和5年度事業計画の承認について 第4号議案　令和5年度当初予算の承認について 報告事項①　新型コロナウイルス感染状況及び対応報告について 報告事項②　施設･事業マネジメントについて
第8回理事会 (理事:9名) (監事:2名)	R5.3.30(木) 書面決議	第1号議案　訪問介護及び第1号訪問事業(訪問介護相当サービス)運営規程(松阪社協松阪支所訪問介護事業所)の一部改正について

第8回理事会 ～続き～		第2号議案　訪問介護及び第1号訪問事業(訪問介護相当サービス)運営規程(松阪社協飯高支所訪問介護事業所)の一部改正について 第3号議案　通所介護及び第1号通所事業(通所介護相当サービス)運営規程(松阪社協嬉野支所通所介護事業所)の一部改正について 第4号議案　通所介護及び第1号通所事業(通所介護相当サービス)運営規程(松阪社協三雲支所通所介護事業所)の一部改正について 第5号議案　通所介護及び第1号通所事業(通所介護相当サービス)運営規程(松阪社協飯南支所通所介護事業所)の一部改正について 第6号議案　通所介護及び第1号通所事業(通所介護相当サービス)運営規程(松阪社協飯高支所通所介護事業所)の一部改正について 第7号議案　就労継続支援B型事業運営規程(嬉野ゆうゆう)の一部改正について 第8号議案　多機能型事業運営規程(サン・ウイングスみくも)の一部改正について 第9号議案　外部サービス利用型共同生活援助事業運営規程(みくもホーム)の一部改正について 第10号議案　外部サービス利用型共同生活援助事業運営規程(はーとりあ飯高)の一部改正について

②評議員選任・解任委員会

開催日	出席者	議題など
R4.5.20(金)	評議員選任・解任委員:5名 理事:2名	第1号議案 評議員の選任について
R5.1.19(木)	評議員選任・解任委員:5名 理事:2名	第1号議案 評議員の選任について

（２）福祉関係施設の運営管理

①施設貸館利用の状況

事業名		令和２年度	令和３年度	令和４年度
松阪支所	貸館件数(件)	375	380	250
	利用者数(名)	4,225	4,315	2,813
嬉野社会福祉センター	貸館件数(件)	803	1,078	1,436
	利用者数(名)	8,740	10,688	14,845
ハートフルみくも保健福祉センター	貸館件数(件)	250	216	600
	利用者数(名)	6,113	5,127	9,477
ハートフルみくもスポーツ文化センター	貸館件数(件)	2,744	3,020	3,400
	利用者数(名)	27,291	28,038	37,846
飯南ふれあいセンター	貸館件数(件)	489	367	612
	利用者数(名)	9,000	8,256	7,658
飯南高齢者生活福祉センター	貸館件数(件)	182	281	252
	利用者数(名)	589	1,077	1,328
飯高高齢者生活福祉センター	貸館件数(件)	148	171	176
	利用者数(名)	1,046	833	897

②施設入居の状況

事業名		令和２年度	令和３年度	令和４年度
飯高高齢者生活福祉センター	実入居者数	9	7	4
	延入居日数	2,424	1,725	1,117

2　福祉のまちづくり部門

(1)ボランティア派遣実績

活動分野	種別	松阪		嬉野		三雲		飯南		飯高		計	
		依頼	派遣	依頼	派遣	依頼	派遣	依頼	派遣	依頼	派遣	依頼	派遣
		件	名	件	名	件	名	件	名	件	名	件	名
障がい者関係	団体支援											0	0
	施設支援					15	45					15	45
	個別支援											0	0
	行事支援									1	4	1	4
高齢者関係	食事サービス			24	120			19	193			43	313
	安否確認	12	60	24	120			13	62			49	242
	施設支援	1	5							3	3	4	8
	行事支援	5	13					1	4			6	17
	居場所づくり							235	2,639			235	2,639
	その他	2	4	24	107			1	14			27	125
児童関係	団体支援			1	6							1	6
	居場所づくり							2	14			2	14
	託児	1	1					1	5			2	6
	行事支援	3	14	1	5			3	29			7	48
	見守り活動					281	1,405					281	1,405
学校	福祉体験支援	8	47	1	6							9	53
	その他			2	7			1	21	1	8	4	36
施設その他	その他	3	8									3	8
その他	使用済切手整理	22	107									22	107
	リサイクル活動	18	122			6	30					24	152
	地域支援					55	150	8	46	3	15	66	211
	環境整備					2	60			5	177	7	237
合計		75	381	77	371	359	1,690	284	3,027	13	207	808	5,676

3　在宅福祉サービス部門

（1）高齢者福祉サービス

事業名		松阪	嬉野	三雲	飯南	飯高
訪問介護事業所	実利用者数(名)	999	—	—	—	688
	延利用回数(回)	8,825	—	—	—	6,234
通所介護事業所	実利用者数(名)	—	846	502	887	731
	延利用回数(回)	—	8,797	6,066	8,035	8,008
総合事業 福っきー体操くらぶ	実利用者数(名)	1,236	—	—	—	—
	延利用回数(回)	4,450	—	—	—	—
外出支援通所 サービス運営事業	延利用者数(名)	—	1,418	—	—	1,547
居宅介護支援事業	延総利用者数(名)	4,123	4,483	—	—	2,237
介護保険認定調査 事業	延調査件数(回)	4,124	930	—	—	299

（2）障がい者福祉サービス

事業名		松阪	嬉野	三雲	飯南	飯高
移動支援サービス 事業	実利用者数(名)	47	—	—	—	45
	延利用回数(回)	72	—	—	—	167
居宅介護事業	実利用者数(名)	241	—	—	—	154
	延利用回数(回)	3,401	—	—	—	1,628
生活介護事業	実利用者数(名)	—	181		—	—
	延利用回数(回)	—	2,870	—	—	—
就労継続支援Ｂ型 事業	実利用者数(名)	142	185		—	195
	延利用回数(回)	2,099	2,920		—	3,560
多機能型事業	実利用者数(名)	—	—	302	331	—
	延利用回数(回)	—	—	5,464	5,410	—
日中一時支援事業	実利用者数(名)	—	16	165	237	24
	延利用回数(回)	—	106	995	1,409	115
外部サービス利用型 共同生活援助事業	実利用者数(名)	—	—	48	—	84
	延利用回数(回)	—	—	1,417	—	2,368
短期入所事業	実利用者数(名)	—	—	47	—	—
	延利用回数(回)	—	—	342	—	—
障がい者特定相談事業･障がい児相談事業	延総利用者数(名)	667	—	—	—	—

（3）　その他の福祉サービス

事業名		松阪	嬉野	三雲	飯南	飯高
福祉有償運送事業	実利用者数(名)	31	—	—	—	25
	延利用者数(名)	91	—	—	—	52